

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 2020

総会報告&情報交換会

2020（令和2）年10月9日（金）



復元展示された110号（桜木町旧横ギャラリー）

ごあいさつ

昨年の長浜市での総会や敦賀市、南越前町の北陸本線の鉄道遺産を楽しく見学した頃が懐かしく、皆様の笑顔が今でも忘れられません。ところが新年が過ぎ、暖かな春の陽ざしに包まれる頃に予期もしていなかった新型コロナウイルス感染症の拡大に見舞われ、窮屈な生活が始まりました。会員の皆様におかれましても様々な困難にみまわれていらっしゃるものと存じます。どうぞ、力を合わせてこの苦難を乗り越えて参りましょう。

本年度は、くりでんミュージアムのある栗原市で総会や見学会を開催したかったのですが、残念ながら叶いませんでした。その結果、行き着いたのが書面総会とリモート会議でした。慣れない作業で事務局はてんてこ舞い。関係の皆様のお力添えもあり、実現に至りました。不手際も多々あるものと存じますが、明るく、楽しく情報交換が出来ますことを心よりお願い申し上げます。

1872（明治5）年新橋—横濱間に我が国初の鉄道が開業して148年。2022年で開業150周年を迎えます。鉄道における150周年は記念すべき歴史の節目としてイギリスを始めドイツ、フランス、アメリカなどは、国を上げて盛大な式典やイベントを行い、動態保存されている歴代の名車両の展示や、パレードなど華やかな舞台が展開されました。ご存知のとおり、我が国の鉄道100周年記念時には、国鉄が京都梅小路蒸気機関車館（現・京都鉄道博物館）を設置、17両の蒸気機関車を動態、静態保存展示し、100周年記念誌も発行しています。

さて、150周年はどうするのか？国鉄から民営会社になってしまい、一枚岩でお祝いが出来るのか？気になるところではありますが、鉄道事業者でもない私どもが騒いだところで仕方がありません。そこで、日本鉄道保存協会では、公益社団法人横浜歴史資産調査会と協働で150年記念誌やイベントを皆で行うことを目的に委員会を立ちあげることにしました。そんな矢先、横浜で嬉しい出来事がありました。JR東日本が桜木町駅界隈の再開発で新たな商業施設を建設。ホテルや食品ストア、フードコートの一部に本物の蒸気機関車110号と客車（複製）、鉄道開業時の資料等の展示を行ったのです。正に快挙。これで東京の新橋には復原された駅舎があり、横浜には当時イギリスから輸入された10両の蒸気機関車のうちの1両が保存されたことになり、鉄道開業の歴史を実感できるようになりました。

横浜は、絹製品や生糸の輸出港として栄えました。全国から横浜港を目指してたくさんの生糸や絹製品を積んだ貨物列車が運転されて来ました。レイルロードはシルクロードなのです。今は湘南新宿ラインと呼ばれている路線は、まさしく北陸、信州、上州、東北地方からのシルクロードでした。そんな歴史も大切に皆様と力を合わせて計画を推進して参りたく存じます。なにとぞご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

来年は、栗原市での総会と見学会で、皆様と笑顔で再会いたしたく存じます。楽しみにいたしております。

2020（令和2）年10月9日

日本鉄道保存協会 代表幹事団体
公益社団法人 横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）

会長 宮村 忠

日本鉄道保存協会 2020 web 会議（テレビ会議）開催要項

日時：2020 年 10 月 9 日（金）13：30～

場所：横浜メディア・ビジネスセンター会議室

- (1) オープニング・本日の予定紹介 司会進行 赤羽 誠
- (2) 開会の挨拶
- (3) 日本鉄道保存協会 2020 年度総会報告 事務局長 米山淳一

2020 年 9 月

日本鉄道保存協会 2020（令和 2）年度総会 書 面 総 会 次 第

【議案】

- | | |
|----------------------------|------|
| 第 1 号. 2019（令和元）年度事業報告（案） | 資料 1 |
| 第 2 号. 2019（令和元）年度収支報告（案） | 資料 2 |
| 2019（令和元）年度監査報告 | 資料 3 |
| 第 3 号. 2020（令和 2）年度事業計画（案） | 資料 4 |
| 第 4 号. 2020（令和 2）年度収支予算（案） | 資料 5 |

【報告事項】

- 1. 新入正会員紹介
 - ・信濃追分駅舎・可惜（あた）会
- 2. 新入賛助会員紹介
 - ・株式会社ヤマネ
- 3. 2021（令和 3）年度総会・見学会開催地
 - ・宮城県栗原市

(4) 活動報告および情報交換会

1. 栗原市（くりはら田園公園）
2. 横浜市電 1156 号保存会
3. リモート参加者からひと言

○横浜参加者氏名

顧問	菅 建彦 花上嘉成 辻 聡 大島登志彦
事務局長	米山淳一

横浜市電 1156 号保存会	齊藤大起
----------------	------

	(司会・進行) 赤羽 誠
(スタッフ) 田中光一	二階堂行宣 河合桃子

日本鉄道保存協会 会員名簿

2020.09.16.現在

<凡 例>

番 号	団 体 名 (施設名)
〒	団体所在地 / 連絡先住所
	電話番号 / Fax 番号
	団体代表者名
	RPSJ 担当者名 (☆)

正 会 員

01 遠軽町 (旧丸瀬布町)

〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 115-2
遠軽町役場丸瀬布総合支所 産業課
Tel 0158-47-2213 Fax 0158-47-2128

町 長	佐々木修一
係 長	上戸 智仁 (☆)

02 陸別町商工会 (ふるさと銀河線りくべつ鉄道)

〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 69-1
Tel 0156-27-2244 Fax 0156-27-2791

会 長	石橋 強
理 事	山本 周二
事務局長	杉本 武勝 (☆)

03 三笠市 (三笠鉄道村)

〒068-2192 北海道三笠市幸町 2
三笠市役所 経済建設部商工観光課 商工観光係
Tel 01267-2-3997 Fax 01267-2-7880

市 長	西城 賢策
主 事	新山 淳 (☆)

04 三菱大夕張鉄道保存会

〒069-0855 北海道江別市大麻宮町 4-6
Tel 011-387-4783

事務局長	今井 一郎 (☆)
------	-----------

05 北海道旅客鉄道株式会社

〒060-8644 札幌市中央区北 11 条西 15-1-1
Tel 011-700-5785 Fax 011-700-5786

代表取締役社長 島田 修
運輸部運用課 松田 道規 (☆)

06 一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会

〒133-0051 江戸川区北小岩 2-14-2-111 号
Tel 03-3672-7709

代表理事 星野 正博 (☆)

07 七百レールファンクラブ (七百鉄道記念館)

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和 4-23-4-101
Tel 070-6528-2629

会 長 斎藤 正
副会長 野田 悟 (☆)

08 小坂鉄道保存会 (小坂鉄道レールパーク)

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山古川 20-9
小坂鉄道レールパーク気付
Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002

代 表 千葉 裕之
総務局長 亀沢 修 (☆)

09 栗原市 (くりはら田園鉄道公園)

〒987-2252 宮城県栗原市築館薬師 1-7-1
栗原市役所企画部企画課
Tel 0228-22-1125 Fax 0228-22-0313

市 長 千葉 健司
企画部企画課 佐藤 喬 (☆)

10 真岡線 SL 運行協議会

〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷 4412
Tel 0285-82-9151 Fax 0285-82-9152

会 長 (真岡市長) 石坂 真一
事務局長 菊池 高樹
担 当 君島 慧 (☆)

11 一般社団法人 あしおトロッコ館

〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原 12-5
Tel・Fax 0288-93-0189

総務担当 岡本 憲之 (☆)

12 鹿島鉄道保存会（鹿島鉄道記念館）

〒113-0033 文京区本郷 5-25-16 石川ビル 11 階
株式会社パレア
Tel 03-5802-2755 Fax 03-3818-2700

代 表 加藤三千尋（☆）

13 鉾田駅保存会

〒310-0001 水戸市上河内町 162
Tel・Fax 029-239-6735

理 事 川津 重夫（☆）

14 ザ・ヒロサワ・シティ（レールパーク）

〒308-0811 茨城県筑西市茂田 ザ・ヒロサワ・シティ
株式会社広沢商事内
Tel 0296-21-1234 Fax 0296-24-7837

代 表 廣澤 清
担 当 野口 稔夫（☆）

15 一般財団法人 碓氷峠交流記念財団（碓氷峠鉄道文化むら）

〒379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16
Tel 027-380-4163 Fax 027-380-4111

代表理事 中島 吉久
館 長 飯沼 勲
事務局長 小崎 正人（☆）

16 一般社団法人電鉄文化保存会

〒331-0802 さいたま市北区本郷町 313 蓮見住宅 C-3

代 表 日暮 成一（☆）

17 日本工業大学（工業技術博物館）

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
日本工業大学工業技術博物館
Tel 0480-33-7545 Fax 0480-33-7570

学 長 成田 健一
館 長 清水 伸二
講師・学芸員 丹治 明（☆）

18 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町 1-1
Tel 048-523-3337 Fax 048-526-0551

代表取締役社長 大谷 隆男
技術部車両課 木村 壮史（☆）

19 東日本旅客鉄道株式会社

〒151-8578 渋谷区代々木 2-2
Tel 03-5334-1352

代表取締役社長 深澤 祐二
総務・法務戦略部 安藤 文人 (☆)

20 公益財団法人 東日本鉄道文化財団

〒330-0852 さいたま市大宮区大成 3-47 鉄道博物館
Tel 048-651-0088 Fax 048-651-0570

理事長 小暮 和之
学芸部 五十嵐健一 (☆)

21 一般財団法人 東武博物館

〒131-0032 墨田区東向島 4-28-16
Tel 03-3614-8811 Fax 03-3614-8814

理事長 三輪 裕章
名誉館長 花上 嘉成
専務理事・館長 山田 智則
管理課長 山澤 晴行 (☆)

22 公益財団法人 日本ナショナルトラスト

〒102-0083 千代田区麴町 4-5 海事センタービル 4 階
Tel 03-6380-8511 Fax 03-3237-1190

会 長 梅崎 壽
事業課 出口美智子 (☆)

23 公益財団法人 交通協力会

〒100-0005 千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903
Tel 03-6269-9808 Fax 03-6269-9809

顧 問 菅 建彦 (☆)

24 横浜市電 1156 号保存会

〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 神奈川新聞社文化部
Tel 090-9015-3707

代 表 齊藤 大起 (☆)

25 公益社団法人 横浜歴史資産調査会 (ヨコハマヘリテイジ)

〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405
Tel 045-651-1730

会 長 宮村 忠
常務理事 米山 淳一 (☆)

26 新潟市新津鉄道資料館

〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
新潟市文化スポーツ部歴史文化課 新津鉄道資料館
Tel 0250-24-5700 Fax 0250-25-7808

館 長 高山 栄一
副館長 加藤 裕之 (☆)

27 上松町（赤沢森林鉄道）

〒399-5603 長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13
上松町役場産業観光課
Tel 0264-52-4804 Fax 0264-52-1038

町 長 大屋 誠
商工観光係 藤原 真 (☆)

28 信濃追分駅舎・可惜（あたら）会 ※新規加入

長野県軽井沢町追分
Tel 090-7704-1918 (河合☆)

代表 那須 由莉

29 足久保鐵道株式会社

〒420-0905 静岡市葵区南沼上 3-11-3
Tel 054-207-7444

代表取締役 玉井 宏政 (☆)

30 大井川鐵道株式会社

〒428-8503 静岡県島田市金谷東 2 丁目 1112-2
Tel 0547-45-4111 Fax 0547-45-4115

代表取締役社長 鈴木 肇
鉄道部長 坂本 光司 (☆)

31 東海旅客鐵道株式会社（リニア・鉄道館）

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭 3-2-2 リニア・鉄道館
Tel 052-389-6100 Fax 052-389-6101

代表取締役社長 金子 慎
館 長 天野 満宏 (☆)

32 公益財団法人 明治村（博物館明治村）

〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地
Tel 0568-67-0314 Fax 0568-67-0358

館 長 中川 武
所 長 三好 学
主 任 近藤 雅隆 (☆)

33 NPO 法人 愛岐トンネル群保存再生委員会

〒463-0032 愛知県名古屋市守山区白山1-708

Tel 090-4860-4664

理事長

村上 真善 (☆)

34 NPO 法人 神岡・町づくりネットワーク

〒506-1147 岐阜県飛騨市神岡町東雲 1327-2

Tel 090-2454-1506 Fax 0578-82-6677

理事長

鈴木 進悟

レールマウンテン

バイク事務局

田口由加子 (☆)

35 公益社団法人 長浜観光協会（長浜鉄道スクエア）

〒526-0057 滋賀県長浜市北船町 1-41

Tel 0749-63-4091 Fax 0749-64-0396

館 長

今井 克美

主 査

梅園いつ子 (☆)

36 長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会

〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道29-1 南越前町役場 観光まちづくり課

Tel 0778-47-8002 Fax0778-47-3261

会長（南越前町長）

岩倉 光弘

事務局長

中村 正直

事務局

西田 周平 (☆)

37 NPO 法人 貨物鉄道博物館

〒510-8014 三重県四日市市富田 3-22-83

三岐鉄道株式会社内

Tel 059-364-2141 Fax 059-364-2142

館 長

吉岡 心平

常務理事

南野 哲志 (☆)

38 西日本旅客鉄道株式会社

〒530-8341 大阪市北区芝田 2-4-24

Tel 06-6375-2176 Fax 06-6376-6053

代表取締役社長

長谷川一明

広報部

岩倉 秀昭 (☆)

39 公益財団法人 交通文化振興財団

〒531-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-26 天神第一ビル 1004
Tel 06-6309-5113 Fax 06-6309-5114

理事長	長谷川一明
専務理事	三浦 英之
交通調査センター長	川端 英登 (☆)

40 宮津海陸運輸株式会社 (加悦 SL 広場)

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町滝 941-2
Tel 0772-42-3186 Fax 0772-42-5300

代表取締役	館農 昇
管理課長	柴田万喜也 (☆)

41 NPO 法人 加悦鐵道保存会

〒612-8485 京都市伏見区久我森の宮町 4-144
Tel 090-3829-4000

理事長	吉田 博一
副理事長	中井 喜宏 (☆)

42 片上鐵道保存会

〒708-0001 岡山県津山市小原 149-5
Tel 090-7896-4858

代表幹事	甲本 康則 (☆)
事務局	森岡 誠治

43 若桜駅を元気にする会

〒680-0792 鳥取県八頭郡若桜町若桜 801-5
若桜町役場ふるさと創生課
Tel 0858-82-2231 Fax 0858-82-0134

会 長	藤原 源市
事務局	谷本 剛
事務局	北内 康久 (☆)

44 NPO 法人 市民文化財ネットワーク鳥取

〒680-0022 鳥取市西町 1-106
Tel 0857-26-1151 Fax 0857-22-4103

理事長	渡辺 一正
事務局長	太田 縁 (☆)

45 山口線 SL 運行対策協議会

〒753-8501 山口市滝町 1-1
山口県庁観光スポーツ文化部 観光プロジェクト推進室
Tel 083-933-3170 Fax 083-933-3179

会 長 三坂 啓司
プロモーション
グループ 山谷 義貴 (☆)

46 西条市（鉄道歴史パーク in SAIJO）

〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷 164
Tel 0897-56-5151 Fax 0897-52-1200

市 長 玉井 敏久
観光交流センター 寺田 達 (☆)

47 馬路村（魚梁瀬森林鉄道）

〒781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 10-11
馬路村役場魚梁瀬支所 やなせ森林鉄道運営委員会
Tel 0887-43-2211 Fax 0887-43-2208

村 長 山崎 出
魚梁瀬支所 徳廣 将也 (☆)

48 宇高連絡船愛好会

〒706-0011 岡山県玉野市宇野 5-21-13
Tel 0863-32-4081

代 表 三村 卓也 (☆)

49 九州旅客鉄道株式会社

〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21
Tel 092-474-2541 Fax 092-474-3898

代表取締役社長 青柳 俊彦
広報部 岡 広樹 (☆)

50 北九州線車輛保存会

〒818-0071 福岡県筑紫野市二日市西 3-12-1
Tel 080-6412-1666

代 表 手嶋 康人 (☆)

賛 助 会 員

01 株式会社ネコ・パブリッシング

〒153-8545 目黒区下目黒 2-28-18 目黒山手通ビル
Tel 03-5745-7813

鉄道事業部長 山下 修司

02 株式会社鉄道ジャーナル社

〒102-0072 千代田区飯田橋 4-8-6 日産ビル 3F
Tel 03-3264-1891 Fax 03-3265-3597

編集長 宮原 正和
編集部 伊藤 丈志 (☆)

03 日本鉄道写真作家協会

〒160-0023 新宿区西新宿 7-5-14 井上ビル 12 号館 9 階
有限会社マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ内

会 長 猪井 貴志
事務局 村上 悠太 (☆)

04 有限会社 レイルマンフォトオフィス

〒102-0072 千代田区飯田橋 3-4-3 エレガンス飯田橋 504
Tel 03-5212-2045 Fax 03-5212-2046

会 長 山崎 友也 (☆)

05 有限会社鉄道フォーラム

〒484-0085 愛知県犬山市西古券 57
Tel 0568-62-9603 Fax 0568-61-6310

代表取締役 伊藤 博康 (☆)

06 株式会社片上鉄道

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原 517
Tel 080-3541-5552 Fax 082-507-2035

代表取締役 森岡 直子 (☆)

07 株式会社日本旅行

〒105-8606 東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング 12 階
Tel 03-6895-7865

代表取締役社長 堀坂 明弘
情報システム部 瀬端 浩之 (☆)

08 株式会社井門コーポレーション

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-15-3
Tel 03-3450-11112 Fax 03-3450-2516

代表取締役社長 井門 義博
丹下 昭英 (☆)

09 株式会社東海汽缶

〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 970
Tel 054-346-6688 Fax 054-346-6430

取締役業務統括部長 石川 寛之 (☆)

10 株式会社ヤマネ ※新加入

〒561-0831 大阪府豊中市庄内西町 5-1-76
Tel 06-6332-0157 Fax 06-6332-7086

代表取締役社長 林 圭祐
技術部課長 高見 浩 (☆)

友の会 会員 (五十音順)

赤羽 誠	阿部 豊	岩野 弘一	加藤 圭哉	河合 桃子
倉繁 聡	柴山 純一	白川 淳	須藤 哲也	関田 克孝
関本 康人	橘 秀幸	田中 光一	田中 浩史	長南 進一
長野 光芳	名取 紀之	西尾 恵介	野田 知毅	畠山 明久
藤井 修	水野 彌彦			

以 上

団体名



〒 089-4300

北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 6 9 番地 1

Tel : 0156-27-2244 Fax : 0156-27-2791

URL <http://rikubetsu-railway.jimdo.com/>

Email ginga@bz01.plala.or.jp

☆ 気動車運転体験が出来る観光鉄道 ☆

【営業期間】(令和2年度)

6月1日(月)～11月25日(水)

【気動車運転体験】

CR70・75型車両を運転士の指導を受けながら運転していただくコースです。

全て2ヶ月前からインターネット又は電話にて予約を開始(Sコースは空きがあれば運転可能)

(Sコース) 15分程度の運転体験

料 金: 2,000円

対 象 者: 小学校高学年以上身長130cm以上

(Lコース) 80分程度で講習・出区点検・ポイント切替・運転体験等

料 金: 20,000円

対 象 者: 18歳以上

(銀河コース) 80分程度で構外運転1.6km

料 金: 30,000円

対 象 者: 18歳以上

条 件: Lコース運転体験者

(新銀河コース) 80分程度で構外運転2.8km

料 金: 35,000円

条 件: 銀河コース2回以上の運転体験者



【気動車乗車体験】

CR75(銀河鉄道999列車)を使用して運行しております。

料金:(構内) 中学生以上300円、
小学生 200円
小学生未満無料

(構外) 中学生以上500円
小学生 300円
小学生未満無料

【トロッコ体験】

足こぎ式トロッコで400mの周回コースを1周

料金: 中学生以上300円・小学生200円
小学生未満無料

(銀河コースパックセット)

Lコース、銀河コース、新銀河コースを2日以上連続でご利用される方には、町内無料宿泊券(2食付)がつきます。(なか日のみ)

<令和2年度事業経過>

2008年4月に開業した「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、今年開業13年目を迎え4月25日から運行を予定していましたが新型コロナウイルス感染症の影響で時期を遅らせて6月1日より開業いたしました。

2010年に「日本鉄道保存協会全国大会」が陸別町で開催され、2012年より1.6km構外へ延伸した運転体験「銀河コース」を開設。翌年にはトロッコ周回路1周400mを設置し、同年9月に「銀河鉄道999」の原作者「松本零士氏」を招き陸別町銀河の森天文台とメーテル号を結びつけた共同イベントを開催しました。

今年より、銀河コースをさらに1.2km延伸した「新銀河コース」2.8kmを開設しております。次年度に向けて、旧ふるさと銀河線最後に残っている鉄路5.7km全線の運転体験実現計画を現在企画中です。



<鉄道発見伝口ケ風景>

<令和2年度イベントスケジュール>

- 6月 1日(月) 令和2年度営業開始
- 7月25日(土) 構外特別運行 (2.8km 石井踏切まで)
- 8月 8日(日)～14日(金) お盆特別営業
- 8月 9日(日) 夏休み構外特別運行 (2.8km 石井踏切まで)
- 9月20日(日) 網走線開業記念構外特別運行
(2.8km 石井踏切まで)
- 10月11日(日) 鉄道の日記念構外特別運行
(2.8km 石井踏切まで)
- 11月25日(水) 令和2年度営業最終日

団体名	北海道三笠市	〒068-2192 北海道三笠市幸町 2 番地 三笠市役所商工観光課 Tel : 01267-2-3997 Fax : 01267-2-7880 Email : kankou@city.mikasa.hokkaido.jp URL : http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/
施設名	三笠鉄道村	〒068-2145 北海道三笠市幌内町 2 丁目 三笠鉄道記念館 Tel : 01267-3-1123 Fax : 01267-2-6965 Email : tetsudoumura@s-304.com URL : http://www.s-304.com

三笠鉄道記念館は、北海道鉄道発祥の地として歴史的遺産・文化保存のため、昭和 62 年にオープンしました。館内には、明治時代の貴重な材料や、大正、昭和期に実際に使用された時刻表・制服・SL 部品・信号機をはじめ北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な鉄道関連品を展示しています。動体保存されている蒸気機関車 S-304 号は、1939 年に日本製鉄輪西製鉄所（後の新日本製鐵室蘭製作所）向けに作られた産業用機関車です。

■ SL 運行（乗車 1 回 300 円）

運行日……… 4 月 16 日から

10 月 15 日までの土・日・祝日

※ 7 月下旬～8 月中旬までの夏休み期間は、

休館日を除き毎日運行。

土曜……… 12:00 始発～16:00 発最終

日曜・祝日… 10:00 始発～16:00 発最終

※ 30 分毎の発車です。

ただし、12:30 発の便はありません。



■ SL 機関士運転体験

三笠鉄道村では、蒸気機関車 S-304 号の運転体験ができます。村内の幌内鉄道 450m を 1 往復。5 分足らずのわずかな時間ですが、気分は SL 機関士そのもの。全国各地からの参加があり、会員数も 700 人を超え、多くの方に楽しんでいただいています。（詳しい体験方法はホームページご参照）

■ 展示車両（三笠鉄道村幌内ゾーン）

動態展示…S-304（C 形タンク機）、コトラ 149456、コトラ 153095

機関庫内展示…C122（国鉄 C12 形機関車）、59609（国鉄 9600 形機関車）、ED76505、DD13353

屋外展示…DD51610、オハフ 33451、スハフ 4412、スユニ 50505、キハ 2252、キハ 2723、キロ 26104、

キハ 5616、DD1517、DD141、チキ 6147、ソ 81、スエ 3041、スエ 321、DD1615、キ 274、

キ 756、セキ 6657、トラ 72568、ワム 66172、DE101702、排雪モーターカー 510、

ロータリー排雪車 DL7L、坑外用 8t 電気機関車 2 両

食堂車…スハフ 4520、キシ 8031、オハフ 46504

■ イベント開催

毎年のゴールデンウィーク、お盆、秋にイベントを実施。イベント時には、オリジナルヒーロー「鉄道戦隊ぽっぽレンジャー」が登場します。

また、客車ではなく、運行している SL の運転席に乗車できる「SL 運転席乗車体験」を行っているほか、ぽっぽレッドによる「どん菓子」作りの実演など、小さなお子様連れのお客様で賑わいます。

その他、新たな取り組みとして、腕木式信号機で SL に発車合図を送る体験企画を実施しお客様に新たな体験をして頂いています。



団 体 名	三菱大夕張鉄道保存会	(事務局) 068-0534 夕張市清水沢宮前町 39 宮コ-23 清水沢コミュニティーゲート内 担当：今井 携帯電話 090-2874-7000
-------	------------	--

三菱大夕張鉄道保存会について

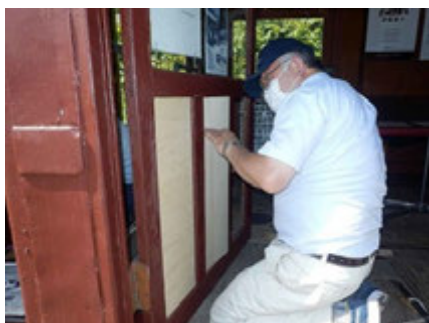
昭和62(1987)年7月、三菱石炭鉱業鉄道(三菱石炭鉱業株式会社南大夕張鉱業所鉄道課)として三菱鉱業大夕張鉄道時代から夕張市大夕張鹿島、南部またその沿線の炭鉱から産出された石炭や林材、また住民の足となっていた鉄道が炭鉱会社の合理化で廃線となり南大夕張駅跡地に遺されたラッセル車、客車、セキ車などは一時期個人に譲渡され、ライダーハウスなどに活用されていたが、個人が高齢のために車両を夕張市に再譲渡。

しかしながら譲渡された車両群はほぼ手付かずのまま放置。荒れ果てた状態になるのには時間はかからなかった。さらには平成11(1999)年の春に屋根上積雪のため客車1両が倒壊の危機となり、夕張市南部地区の地元有志、元住民、元鉄道職員、鉄道ファンが集結。シューパロ塾を結成。町おこしのための学習団体としながらも南大夕張駅跡地の車両群の補修を始め、車両を修復保存するための専門団体を派生させたのが三菱大夕張鉄道保存会です。

以来、所有者の夕張市と協議しながら車両の修復・保存活動とともに夕張の鉄道や炭鉱の歴史を研鑽、広報する活動を主軸としている団体ですが、相談を受けることに依り創会以来蓄積した修復技術を他の鉄道車両保存団体に提供することも行っています。

(今年度の作業の様子)

(技術支援している長沼町の夕鉄25号機)



今年度の活動報告

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、例年通りに保存車両の冬囲いは4月に解き公開はしたものの会の活動方針を決める定例総会は7月にずれ込み、夏季間の月一回の定例活動は6月から。

毎年9月に開催していた「汽車フェスタ」は、過疎の町となった夕張市南部地区に残された唯一の地元のお祭りとなっていましたが、9月現在、夕張市の感染者はゼロで、地域の高齢者も楽しみにしている集いすら催し出来ない状況下で、夕張市外からたくさんの人が訪れる汽車フェスタは地元の皆さんの脅威になる可能性も考えられ、今年度は未催行としました。

他団体支援事業としては、「密」を避けるため公募はしていませんが、今年度も長沼町・長沼町青年団体協議会を支援。長沼町コミュニティー公園に保存されている夕張鉄道25号機の前照灯、運転室内照明などを整備し点灯することができました。

夕張市南部の南大夕張駅跡地の保存車両の冬囲いは11月上旬の予定で、それまでは一般公開しています。

団体名	一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会	〒 039-2512 青森県上北郡七戸町笹田 5 4-2 Tel : 080-3201-4158 Fax : URL : http://www.ogaemon.com Email : 担当者：星野
-----	------------------------	---

平成 9 年運転休止、平成 14 年に廃線となりました南部縦貫鉄道で使用されていた車輛の保存活動を行っています。

富士重工製のレールバスキハ 101・102 の 2 両とキハ 104 ディーゼルカー1 両、機関車 3 両 (D451、DC251、DB11) を旧七戸駅構内で保存を行っています。

毎年ゴールデンウィークにはレールバスに体験乗車できるイベントを開催し、秋には夕暮れ撮影会と称して日中帯から日没後までライトアップを行い撮影会を開催しております。

2020 年度の活動ですが新型コロナウイルスの影響により活動を自粛しております。



団体名 七百レールファンクラブ

<https://www.facebook.com/pages/七百レールファンクラブ/1014675581876815>

七百検修庫: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢14-66

七百レールファンクラブ会長自宅: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢95-2

会長: 斎藤正

施設名 七百鉄道記念館

七百鉄道記念館 事務取扱方

住所: 〒336-0926

埼玉県さいたま市緑区東浦和4-23-4-101

氏名: 野田 悟

連絡先: 090-6568-2629(開館時以外は通じません)

メール: shichihyakurfc@yahoo.co.jp

平成24年3月31日限りで廃線となった十和田観光電鉄線の旧: 七百駅構内にて同社の車両の保存活動などを行っている団体です。

平成25年に旧: 七百駅周辺の住民が中心となり「七百レールファンクラブ」発足

平成26年に旧: 七百検修庫を中心とする土地・建物と車両6両を十和田観光電鉄から会員が購入

平成27年5月31日 「七百鉄道記念館」として第一回 一般公開を実施

(この間、年2回=春・秋のペースで一般公開を実施致しました)

令和元年10月20日 第十回 一般公開を実施

本年度の一般公開につきましては、会員に諮った処「新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況では中止が妥当ではないか？」との意見が大勢を占めたことから、春・秋共に見送りとさせて戴きました。

【昨秋の第10回一般公開の様子】



【本年度の活動の様子】



今年は2019年春に解体された十鉄三沢駅舎内で使用されていた木製のベンチを三沢市から譲り受けました。これは解体工事の際に、市がこの春にオープンの三沢駅前複合施設「みーくる」内での再利用も可能ではないか、との判断から当面、保管されていたものです。次回の一般公開時にはお披露目出来ると思います

本年度は一般公開が行えず、レールファンクラブとしての活動も施設の保全面を中心とした内容に留まっておりますが、再来年の2022年は春に廃線10年、秋に開通100年という節目の年を迎えることから、引き続き活動して参りたいと考えております。

※ 個人連絡先(野田)

自宅: 048-876-0102

自宅PC: IZD01662@nifty.com

個人携帯: 090-2520-2629

個人携帯アドレス: satorunoda@docomo.ne.jp

団体名

小坂鉄道保存会

連絡先（小坂鉄道レールパーク 気付）

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古川20-9

Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002

新型コロナに負けずコツコツと！

▼7月に営業を再開した小坂鉄道レールパーク



▼レールバイクの本線走行が人気です



▼汚れが目立つ24系客車の外装も丁寧に清掃



▼冬の作業を開始したときは、コロナはまだ



◀コツコツとエボルタ号二世を修復、まもなく公開

結成8年目を迎えた小坂鉄道保存会。冬期閉園期間を利用して実施中の、24系客車屋根塗装が終わろうとしていた今年3月、突然の新型コロナウイルス感染拡大により活動を自粛し、そのまま令和2年の活動を中止することを余儀なくされました。全国から参集する会員にとって、感染しない、感染させない行動が最優先であると判断したためです。

小坂鉄道レールパークは、7月から営業を再開しましたが、“ブルートレインあけぼの”の年内宿泊営業は全面中止となりました。保存会の“魅せ鉄”もお休みではありますが、7月からは北東北在住の有志により作業を再開。2015年に埼玉県川越工業高校が製作し、由利高原鉄道でギネスに挑戦した「エボルタ号」二世の修復に協力しました。第2波により先行きは不透明ですが、今後でもできる範囲でコツコツと活動してまいります。



団体名	 くりはら田園鉄道公園 くりでんミュージアム	連絡先 くりでんミュージアム（大杉・高橋） 〒989-5501 宮城県栗原市若柳川北字塚ノ根 17-1 TEL:0228-24-7961 FAX:0228-24-7962 開館時間：10時～17時（最終入館 16時）定休日：火曜日 mail:kuriden@kuriharacity.jp Twitter:@kuridenrailpark くりでんミュージアム 検索
-----	--	---

くりでんを見て、触れて、体験できる 実物の車庫、駅舎を活用したレールパーク

くりでんミュージアムは、2007年に廃線となった「くりでん」の愛称で親しまれていた「くりはら田園鉄道」の歴史・功績を後世に伝えるため 2017年に旧若柳駅車庫に隣接する形で新設されました。車庫に保存された実物の車両見学や、KD10の運転台を活用した運転シミュレーター、くりはら田園鉄道の全線を再現した 16m のジオラマが見どころ。敷地内にある旧若柳駅では「くりでん乗車会」や「レールバイク乗車会」などイベントを定期的に開始。遊具で遊べる芝生公園や農産直売所くりでんも隣接しております。



レールバイク乗車会時に車両撮影会を同時開催

●年間イベントスケジュール（コロナウイルスの状況により今年度未開催のものあります）

4月～11月の駅舎イベント

レールバイク乗車会 片道 900m 往復 / 有料 1 台 510 円

今年度中止 KD 乗車会 片道 900m 往復 / 有料

今年度中止 くりでん W 乗車会 RB と乗車会の同時開催

今年度中止 運転体験 片道 900m 往復 / 有料

季節イベント

GW こどもまつり（5月）

夏休み Week（8月）

創業記念祭（12月）

企画展示年 2 回 / 絵画展など



2019 年後期～2020 年前期の活動報告

2020 年 3 月 2 日（月）から 5 月 19 日（火）まで新型コロナウイルス感染防止対策のため休館しておりました。

また、今年度の KD 乗車会、W 乗車会、運転体験イベントの中止、一部ミュージアム施設内の閲覧規制（体験コーナー、キッズスペースの閉鎖）を実施しています。また感染防止対策として定期的な消毒、入館者・イベント参加者への来館カード記入も年度内は継続して行なっています。

2019 年 12 月 14 日～15 日

くりでん創業祭（来場者 252 名）

イベント内容

くりでん乗車会 / 撮影会 / 復刻版スタンプラリー

クイズラリー / ダンボール工作教室 / ボンネットバス乗車会

男声合唱団による栗鉄のうたコーラス披露



一般の方が所有する、栗鉄カラーのボンネットバスに乗って若柳を周回。



2019 年 10 月 2 日～2020 年 1 月 26 日

企画展 **栗鉄の歌と白鳥省吾**

資料・パネル展示 / YOUTUBE による音源配信



2020 年 5 月 20 日～2021 年 1 月末予定

企画展 **鉄道技術の近代化**

資料・パネル展示

2020 年 6 月～10 月（全 9 回）

レールバイク乗車会 & 車両のデモ運行（車両展示）

2020 年 8 月 8 日～8 月 16 日

夏休み Week2020 イベント内容：特別料金設定、クイズラリー

その他

ミュージアムスタッフの運転技術取得に向けた練習の開始（今年度から）

KD951 のブレーキ弁修繕、KD11 のドアの修繕、

ミュージアムグッズの新商品入荷、Facebook の開設

VICOM の前面展望映像をミュージアムシアターで上映（新コンテンツ）



こども向け、家族向けに新しいグッズを追加！

団体名	真岡線 S L 運行協議会	〒 321-4415 栃木県真岡市下籠谷 4412 番地 Tel : 0285-82-9151 Fax : 0285-82-9152 URL : Email : furusatoshinkou@hagakouiki.jp 担当者：君島
-----	---------------	---



▲ S L もおか号 「C 1 2 6 6」

「S L もおか」 2 0 2 0 秋冬・運行日程（予定）

【運 行 日】 1 0 月 3 日・ 4 日・ 1 0 日・ 1 1 日・ 1 7 日
1 8 日・ 2 4 日・ 2 5 日・ 3 1 日
1 1 月 1 日・ 7 日・ 8 日・ 1 4 日・ 1 5 日
2 1 日・ 2 2 日・ 2 8 日・ 2 9 日
1 2 月 5 日・ 6 日・ 1 2 日・ 1 3 日・ 1 9 日
2 0 日

【運行区間】 真岡鐵道 下館駅～茂木駅（4 1 . 9 キロ）

【運行時間】 下り 下館駅 1 0 : 3 5 発～茂木駅 1 2 : 0 6 着
上り 茂木駅 1 4 : 2 6 発～下館駅 1 5 : 5 6 着

【運行車両】 S L C 1 2 形 6 6 号
P C 5 0 系 オハ 2 両、オハフ 1 両
D L D E 1 0 1 5 3 5 1 両

【S L もおか 近況報告】

◆ S L もおか 運行中！

・新型コロナウイルス感染症の影響で今年3月より運休しておりました S L もおかが、7月18日より運行を再開しました。運行再開に伴いまして、S L もおかではマスクの着用や手指消毒などをお願いしております。また、新たに事前予約システムを導入し、客車内で乗客が密集しないよう対策を心がけて、日々安全に運行しております。



《運行を再開した S L もおか》

◆ 小規模撮影会 開催！

・新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施している様々なイベントが中止となっておりますが、真岡鐵道では感染症対策をおこない、S L の運休期間を利用して S L 「C 1 2」や D L 「D E 1 0」の助士席の乗車体験や撮影会などを実施しました。

普段より近くで S L を撮影することができ、参加していただいたファンの方々は久しぶりの C 1 2 との対面にとっても興奮し、楽しんでいただきました。



《「デラックス S L & D L 貸し切り乗車体験会」の様子》

団体名	一般社団法人 あしおトロッコ館 (旧 NPO 法人足尾歴史館トロッコ部)	〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原 2825 (古河足尾歴史館内) URL : https://www.furukawakk.co.jp/ashio Email : sgq00426@nifty.com 担当者：総務担当 岡本憲之
-----	---	--



▲わたらせ渓谷鐵道 足尾駅 構内にて保存され、当会が管理していますキハ 35 ほか多数の車両たちですが、毎年 3 回の定期公開について、今年は新型コロナウイルス感染症の予防から、断腸の思いで中止しました。



▲野辺山 SL ランドからやってきた元井笠鐵道コッペル 7 号機が保存車両の仲間として加わりました。後ろに見える列車は、主役である足尾のガソリンカーです。



▲日立セメント太平田鉱山から寄贈され、保存展示が始まりました日本最後の貨物索道の搬器。足尾は日本初の貨物索道発祥地であり、由緒正しき土地です。

昨年 4 月から NPO 法人足尾歴史館は古河機械金属株式会社が運営することになり、**古河足尾歴史館**となりました。

これにともない足尾歴史館時代の鉄道&トロッコの保存活動は今年度から**一般社団法人あしおトロッコ館**として独立し、古河機械金属株式会社のご理解とご協力を頂き、引き続き今まで通りの活動を行っています。

【一社 あしおトロッコ館の活動】

その 1 古河足尾歴史館 野外
足尾ガソリン軌道歴史館線
とトロッコ展示場

その 2 古河足尾歴史館 2 階
あしおトロッコ館室内展示場

その 3 わたらせ渓谷鐵道 足尾駅
保存車両(軌間 1067mm)

すでにご承知のとおり、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全てのイベントは中止となり、毎年 3 回ほど定期公開していた **わたらせ渓谷鐵道 足尾駅**での保存車両公開も中止しています。

なお、**古河足尾歴史館**は、毎年 4 月上旬からの開館を遅らせ 6 月 20 日から開館し、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しながら、毎月第一土・日のガソリンカー定期運行などを続けております。

昨年 10 月には、野辺山 SL ランドから株式会社関水金属の協力を得て、井笠鐵道のコッペル 7 号機を譲り受けました。また、年末の 12 月には茨城県の日立セメント太平田鉱山から、わが国最後の鉱山用貨物索道の搬器 2 台を保存のために寄贈頂き、一部動態展示をしています。

予算、人員、行政や企業との調整など様々な制限のあるなかで、鉄道とトロッコの保存活動を地道に続けておりますので、今後とも皆様からのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

団体名	鹿島鉄道保存会 <鹿島鉄道記念館>	〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 11 階 (株)バレア内 TEL 03-5802-2755 FAX 03-3818-2700 URL https://www.facebook.com/kashitetsu E-mail info@kashitetsu.com 代表者:加藤
-----	--	--

鹿島鉄道保存会は、平成19年3月末をもって営業廃止した鹿島鉄道線(石岡～鉾田間27.2km)の物品・資料の収集や茨城県小美玉市にある私設・鹿島鉄道記念館(普段は非公開)の保存展示など運営サポートを行っている任意団体です。旧かしてつ応援団をはじめとする存続運動関係者や鹿島鉄道応援ホームページメンバーなどの有志約20名で構成され、年齢や職業も多岐に渡り「鹿島鉄道が心の底から好きだった」という共通認識でつながっています。



【保存車両】

キハ714 (昭和28年新潟鉄工所 元夕張鉄道キハ251)

KR-501 (平成元年新潟鉄工所 鹿島鉄道自社発注車)

キハ431 (昭和32年東急車輛 元加越能鉄道キハ125)

【保存建物】

玉里駅上りホーム待合室

ヘッドマーク、駅名板、信号機その他多くの鹿島鉄道関連グッズ、存続運動資料等を収蔵

【活動報告】

平成21年3月の記念館完成後、非定期で鉄道ファン向けの一般公開(事前予約制)、見学団体受け入れや自治体とのイベント共催による特別公開を実施しています。

【今後について】

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を中止しています。鹿島鉄道や存続運動が忘れ去られてしまわぬよう、コロナ収束後には活動再開するとともに、一般公開を開催したいと考えています。

団体名	鉾田駅保存会 〒311-1528 茨城県鉾田市当間 220 ほっとパーク鉾田内	〒310-0001 茨城県水戸市上河内 162 Tel : 090-4387-8455 Fax : 029-239-6735 URL : http://www.hokotaeki.jp/ Email : hokota-station@rail.nifty.jp 担当者：川津 重夫（事務局）
-----	---	---

鹿島鉄道の車両（KR-505・キハ601）の保存活動をしています



1.活動の概要

2007年3月末で廃止になった鹿島鉄道の車両2両（キハ601・KR-505）の保存活動を行っています。

2両が展示されている、茨城県鉾田市の市営温泉施設『ほっとパーク鉾田』において、月例の車両公開と、車両の保全・補修作業を実施しています。

定期公開では活動の周知と、鹿島鉄道を知らない世代への記憶継承を目的に下記を実施しています。

- (1) 鹿島鉄道関連資料・書籍の展示
- (2) 保存活動内容の展示・広報
- (3) KR-505 車内でのプラレール遊び
- (4) 鉄道模型展示・運転
- (5) 5インチ乗用鉄道の体験乗車

また、鉾田市や商工会主催の『鉾田うまかつフェスタ』『ほこたマラソン』『鉾田花火大会』『ほこたいっぴんマルシェ』や、『石岡市商工祭』などの地域行事に参加・協力し、広報活動を行っています。

2.活動の経緯

保存活動対象である気動車キハ601とKR-505は、2008年初めに当会が鹿島鉄道殿から購入したものでした。当会は当初、賃借した鉾田駅跡地において2両の保存活動を実施していました。

その後紆余曲折があり、鉾田市議会の議決により、鉾田市の温泉施設『ほっとパーク鉾田』において2両を保存することになりました。当会は2両の気動車を鉾田市に寄付し、保存車両は2009年12月24日に鉾田駅からほっとパーク鉾田に移送されました。昨年末に移転10周年を迎えました。

2011年3月の東日本大震災で路盤の液状化により、道床の破壊と車両傾斜、床下機器損傷等の被害を受けました。車両を一時的に移動し道床の復旧が行われました。保存車両は2011年12月に元の道床に復帰し、2012年3月より、当会は車両公開を再開しました。以後4～12月の第4日曜日の定期車両公開を継続実施してきました。

3.最近の活動

昨年の11月から、キハ601とKR-505の全塗装に着手しました。今年7月に2両とも竣工しています。



KR-505のパテ研磨



キハ601の朱色塗装

新型コロナウイルスによる非常事態宣言を受け、定期車両公開を中止していましたが、茨城県のガイドラインに沿って感染症予防対策をとり2020年8月より定期公開を再開しました。今後の車両公開は、流行の状況を注視しながら実施の可否を判断していきます。

団体名

ザ・ヒロサワ・シティ (レールパーク)

〒308-0811 茨城県筑西市茂田 ザ・ヒロサワ・シティ
広沢商事株式会社 営業部 内
Tel : 0296-45-5601 Fax: 0296-45-5602
URL : http://shimodate.jp/rail_top.html
Email : honten@hirosawa-shoji.co.jp
担当者: 大高、野口

ザ・ヒロサワ・シティでは、現在 11 両の貴重な鉄道車両を保存しています



【保存車両一覧】

【北斗星車両】

- EF81-138
- オロハネ24-551
- スシ24-505
- オハ25-503
- オハネフ25-12

【マリンライナーはまなす】

- 7001、7002

【関東鉄道】

- キハ101、キハ102

【蒸気機関車】

- D51-1116

【新幹線車両】

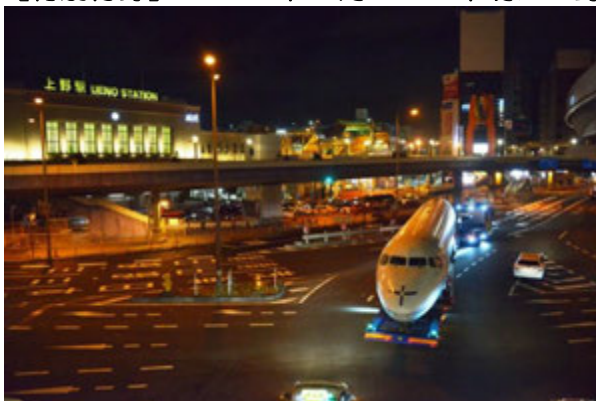
- E224-127

この1年間に行われた修復作業など

- 右の写真は、2019年12月にボランティアメンバーで、EF81-138とD51-1116に正月飾りを取り付けたときの模様です。
- 下の3枚の写真は、今年6月から4両の気動車の塗装修復作業を実施しました。特に「マリンライナーはまなす」は、鹿島臨海鉄道在籍中から数えて約10年ぶりのお色直しで、純白の車体を復活させました。
- 今後、いよいよ、北斗星車両の活用を図るための本格的な改修作業を開始することが決定しました。往時を偲べる姿の復活を実現します。



【特別付録】2020年3月28日未明に上野駅前を通過するYS11の機体



ザ・ヒロサワ・シティでは、レールパークのみならず、飛行機、船、クラシック・カー、消防自動車、クラシック・バイクなどを展示した「交通」に関する総合的なテーマパークとなるべく整備を進めています。

左の写真は、この一環として、国立科学博物館から貸与されたYS11 (JA8610) の機体を、羽田空港から輸送した時の一コマです。

現在、組立作業が進められており、胴体と主翼の取り付けが終了し、今後、尾翼や細かな部品の整備を行った上で一般公開を行うべく進めています。

団体名	一般財団法人 碓氷峠交流記念財団 碓氷峠鉄道文化むら	〒379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16 Tel : 027-380-4163 FAX : 027-380-4111 URL : https://www.usuitouge.com/bunkamura/ Email : bunkamura@usuitouge.com 担当者：事務局長 小崎 正人
-----	-------------------------------	---

碓氷峠鉄道文化むらのある松井田町は群馬県の南西部に位置し、碓氷峠をはさんで長野県の軽井沢町と接しています。峠のシェルパEF63形機関車の基地であった旧横川機関区の跡地で、東京ドーム3.5個分のスペースがあります。

峠の鉄道の歴史は古く、明治の初めに東京～京都間を碓氷峠越えの中山道案で結ぶと決定されましたが、明治19年にこの峠が難関のため東海道本線経路に変更された経緯のある所です。しかし、明治26年には日本で初のアプト式鉄道の採用で開通しましたが、11.2kmで標高差553mもあり、トンネル区間が多いため当時蒸気機関車の煙害防止のため、明治45年にこれまた日本初の幹線電化区間となりました。日本の鉄道技術の発展はこの峠から生まれたと言っても過言ではない線区でした。

時移り平成9年、長野オリンピックの開催を控えて、同年10月1日の長野新幹線の開業と同時に併行在来線として104年の歴史にピリオドを打ちました。旧機関区周辺は鉄道の街として発展してきましたが、廃止に伴う過疎化防止と地域経済の核として、旧松井田町が群馬県・JR東日本の協力により平成11年4月にオープンした鉄道の広場です。今年で開園21年目を迎えました。

信越本線横川～軽井沢間（通称、碓氷線）は廃線後早21年が経とうとしており、廃線間際の熱気も潮が引くように静かになってしまいましたが、この廃線敷を使い近代化遺産第1号に指定されている、丸山変電所跡を通り峠の湯までの2.6kmを3月～11月の間の土日祝日と8月のお盆過ぎまで、トロッコ列車が運行しています。

また日本で唯一のEF63形電気機関車の運転体験も2,820人が受講されています。2019年度は58名の受講者（内、女性1名）があり、のべ3,249回の体験を楽しめました。また、通算500回以上運転された方が5名おります。2020年度も引き続き多くのお客様が受講され、運転体験を楽しんでいます。

園内奥に留置されている189系あさま号（JR色）の塗装が行われ、今後はイベント等で車内公開を行っていく予定ですが、屋外に展示されている車両や動態保存しているEF63形電気機関車の保存方法や修繕方法など、貴重な車両をどのように後世に残していくかが課題となっています。



運転体験で使用している EF63 形電気機関車



トロッコ列車シェルパくん



屋外に展示されている車両



車両塗装を行った 189 系あさま号

団体名	一般社団法人 電鉄文化保存会	〒152-0023 東京都目黒区八雲3-4-9 Tel：080-3013-5871（日暮携帯） URL：http://snowy-saito-7755.zombie.jp Email：moha565_deha3499@mc-tc.net 担当：岩崎・日暮
-----	-------------------	---



デハ3499号車保存会の事業継承し、新たに一般社団法人として再出発しました。

松本電気鉄道（アルピコ交通）新村車庫に保管されていた5000系電車2両を2020年3月23日に搬出、同25日にかつての同僚デハ3499が待つ赤城南麓に無事到着致しました。新型コロナウイルスによる社会機能の全面ストップ寸前、まさに逃げ切るかのように輸送を完遂することが出来ました。

ここに至るまで、軌道資材の調達や敷設など、多方面のご協力をいただきました。レールは鉾田駅保存会様の保管品（鹿島参宮鉄道以来の輸入品）を拝借しております。関係各位に、厚く御礼申し上げます。

松本電気鉄道（アルピコ交通）5000系電車

モハ5005（元・東京急行電鉄デハ5055 1959年製） 機器類が原型を留める最後の個体
クハ5006（元・東京急行電鉄デハ5048 1958年製）

デハ3450形3499と共に、往年の東急の名車があたかも小さな車庫のようなスペースに集結しました。

10月1日より会員（法人社員及び賛助会員）と寄付金募集を開始する予定です。

コロナ禍の中、いろいろ苦しいですが頑張りましょう！
どうぞよろしくお願いします。

団体名

**日本工業大学
工業技術博物館**

〒 345-8501
Tel : 0480-34-4111 Fax : 0480-33-7570
URL : <http://www.nit.ac.jp/>
Email : museum@nit.ac.jp
担当者 : 丹治 明



製造されて 128 年、大学キャンパスを疾走する 2109 号蒸気機関車の勇姿

1993 年 9 月に大井川鉄道より本学に寄贈され、年に 2 度の洗缶作業を行い、2007 年度にボイラー煙管 172 本とステー管 16 本を交換して、動態保存を実施している。2012 年度の右側シリンダーの補修作業後の有火運転も無事に再開している。

2109 号蒸気機関車を、原則として 8 月と 12 月を除く毎月第 3 土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。上記の写真にキャンパス内で運転中の様子を示す。

このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を予定としていたが、現在、コロナウィルス感染拡大防止のため、2020 年度は、有火運転を中止し、一般見学もお断りしている。



工業技術博物館前庭に静態保存中の箱根登山鉄道 モハ 1 形-103 号

箱根登山鉄道株式会社において活躍した木製車体「チキ 1 形・1919(大正 8)年・日本車輛製造株式会社製」が、1950(昭和 25)年の小田急車両の乗り入れ開始時に半鋼製車体「モハ 1 形」への改造を経て、2019(令和元)年に運転を取りやめ、同年、日本工業大学に譲渡された。

現在は、併設された工業技術博物館前庭に、照明機器の点灯・乗降扉の開閉が駆動可能な状態で、静態保存されており、工学部学生達の教材として活用されている。

団体名	秩父鉄道株式会社	〒360-0033 Tel : 048-523-3337 Fax : 048-526-0551 URL : http://www.chichibu-railway.co.jp Email : syaryo@chichibu-railway.co.jp 担当者：木村 壮史
-----	----------	--



秩父鉄道 SL パレオエクスプレス

SL パレオエクスプレスは通年3月下旬から12月初めまで、土曜、祝祭日を中心に運行しておりますが、今年度はC58-363号機全般検査中の為、8月より電気機関車にてEL パレオエクスプレス号が運行しております。

なお、2021年度の運転計画については、決定し次第、弊社ホームページ等でご案内させていただきます。

秩父へお越しの際には、是非ご乗車をお待ちしております。



彩色兼備（7507 編成）

秩父鉄道創立120周年を記念して、お客様と沿線地域をつなげていく列車を目指し、秩父鉄道フルラッピング列車の第3弾として2019年11月2日より運行をしております。愛称「彩色兼備」は、すぐれた才能と美しい容姿の両方を持っていることを表す「才色兼備」の「才」を「彩」に置き換え、秩父鉄道沿線地域が様々な美しい景色やおいしい食べ物を備えていることを表現しています。

秩父にお越しの際には、是非こちらの編成にもご乗車下さいます様、お待ちしております。

団体名	東日本旅客鉄道株式会社 公益財団法人東日本鉄道文化財団	〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目47番 Tel : 048-651-0088 Fax : 048-651-0570 URL : http://www.railway-museum.jp/
-----	--------------------------------	---

企画展「全線運転再開記念 常磐線展」を開催しました

2020（令和2）年3月14日、東日本大震災の影響により長く不通となっていた常磐線が約9年の時を経て全線で運転を再開しました。このような節目の年にあたり、本展では130年に及ぶ常磐線の歴史や路線の特徴などについて資料や写真、映像等を通じて振り返るとともに、新たな一歩を踏み出す常磐線の復旧の様子や各駅の姿をご紹介します。

会期：2020年6月10日～9月6日

主催：鉄道博物館

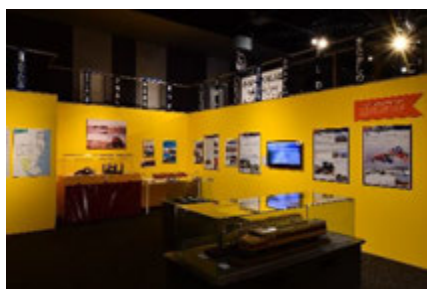
後援：さいたま市、東日本旅客鉄道株式会社

協力：東北福祉大学 鉄道交流ステーション

企画展の様子



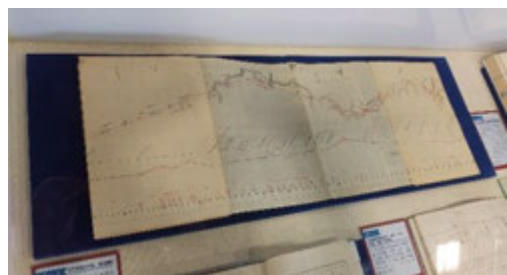
A



B



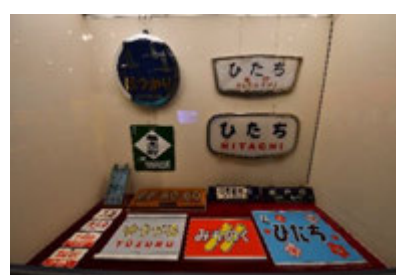
C



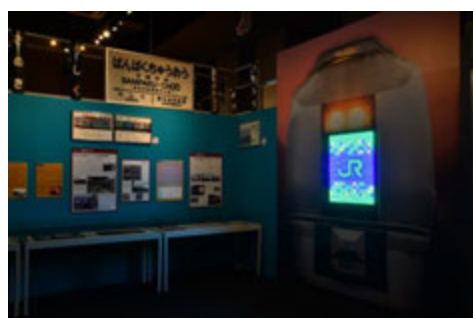
D



E



F



G



H

- A 会場入口には C62 の実寸大パネルを設置
- B 震災による常磐線の被害と復旧状況を紹介するコーナー
- C 常磐線の歴史を紹介するコーナー
- D 水戸線線路平面・縦断面図（明治27年）
- E 「スーパーひたち」と「はつかり」の模型（縮尺 1/20）
- F 常磐線で活躍した車両のヘッドマーク類
- G, H 651 系の LED 表示器

団体名	一般財団法人 東武博物館	〒 131 - 0032 Tel : 03 - 3614 - 8811 Fax : 03 - 3614 - 8814 URL : Email : tm-kanri@group.tobu.co.jp 担当者：管理担当：伊藤美千夫
-----	--------------	---

東武博物館は、新型コロナウイルスの影響により、3月1日から5月31日まで臨時休館を余儀なくされましたが、入場人員の制限や開館時間の短縮をはじめ、各種ガイドラインに則った感染防止対策を講じて6月2日（火）より営業を再開しました。

来館者については例年の3分の1ほどに留まっていますが、小さいお子様連れの親子を中心にご来館いただいております、少しずつ活気を取り戻しております。

また、東武博物館が東武鉄道に貸与し、同社が運行している SL 復活運転についてもコロナウィルスの影響で長らく運休しておりましたが、7月4日から運転を再開しています。さらに8月5日には東武日光に初めて公式に入線し、新たに SL 大樹「ふたら」の愛称でお披露目をさせていただきました。今後は東武日光口においても営業運転を行う予定となっています。

併せて東武鉄道所有の DE10 型も、北斗星カラーの 1109 号機が加わって 2 機体制となり、様々な運行が可能な状況が生まれています。すでに企画臨時列車も運行され、ご好評をいただいたところです。

加えて上半期中に 14 系客車 4 両、および真岡鐵道で運行していた C11 325 号機を東武鉄道より買い取り、C11-1 号機とともに東武鉄道南栗橋車両管区 SL 検修庫において復元工事に入っております。

このことにより、現在 SL は 3 両在籍することとなり、これらの車両の工事は本年度下半期中には完了する予定となっていることから、今後は全般検査や故障等が発生した時でも、通年運行ができる体制となりました。



C11325 の勇姿
今後の活躍が期待される



団体名	公益財団法人 日本ナショナルトラスト	〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル 4 階 TEL : 03 (6380) 8511 FAX : 03 (3237) 1190
-----	-----------------------	--

2020 年「トラストトレイン」運行日ボランティアについて

4 月 11 日・6 月 6 日・7 月 4 日・8 月 22 日・9 月 26 日

＊いずれも土曜日に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4 月、6 月、8 月の運行日ボランティアは中止しました。なお、9 月 26 日は実施予定ですが、直前で変更になる可能性があります。

＊2019 年度は 4 月～9 月まで計 5 回の運転を行い、ボランティア参加数 92 名という結果でした。

〔区間〕 大井川鐵道 新金谷―千頭間 (37.2km)

〔運賃〕 新金谷―千頭 (片道 2,570 円・SL 急行料金含む)

〔保有車両の編成〕

C 12 形 164 号蒸気機関車、スハフ 43 形 2・3 号客車、オハニ 36 形 7 号荷物合造客車

〔運行時間〕

新金谷駅 11:52 発→千頭駅 13:09 着

千頭駅 14:55 発→新金谷駅 16:11 着

「トラストトレイン」の活動について

運行日のボランティア活動では、車両の清掃や運行補助のほか、活動を周知するためのパンフレット配布などを行っています。

他にボランティア間でミーティングも行い、活動を充実させるためには何をすればよいか、ボランティアや協力者を増やすにはどうすればよいかなど知恵を出し合い、行動に移しています。

また、夏場の運行日は「親子ボランティア」として実施し、次世代を担う子供たちに歴史的車両を守っていく楽しさや喜びを伝えるため、歴史的車両と触れ合う機会、保存・活用に関わっているボランティアの方々や大井川鐵道の鉄道マンの方々と交流する機会を設けています。

2017 年には、トラストトレインは運行 30 周年を迎えました。市民参加により動態保存されているこの貴重なトラストトレインを末永く維持管理するために、今後も皆様の温かいご支援をお願いいたします。



C 12 形 164 号蒸気機関車



毎年好評の親子ボランティア

団体名 公益財団法人 交通協力会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903 号

電話 03-6269-9808 FAX 03-6269-9809

会長兼理事長 上野 文雄

沿革

当会の源流は、大戦中の 1943(昭和 18)年に鉄道省が設立した財団法人陸運協力会に遡ります。その頃、戦時経済のもとで紙が統制物資となり、いわゆる業界紙誌の発行が困難に陥っていました。陸運協力会は、これまで民間業者が発行していた鉄道関係の業界紙を統合して同年 4 月、日刊紙『陸輸新報』の刊行を開始し、各種雑誌も戦時下の困難を乗り越えて発刊しました。

戦後は名称を財団法人交通協力会と改め、『陸輸新報』も『交通新聞』と改称し、『交通年鑑』と『交通技術』誌を発刊、1949(昭和 24)年の公共企業体日本国有鉄道の発足とともに『国有鉄道』・『国鉄線』の両誌を発刊しました。これらはいずれも国鉄の機関誌として、1987 年の国鉄改革まで継続発行されました。この間、鉄道創業 80 周年記念事業として国鉄が編纂した『鉄道辞典』や、100 周年記念に国鉄が編纂した『日本国有鉄道百年史』も、同会が刊行しました。

1987(昭和 62)年の国鉄改革にあたり、新聞・雑誌の刊行や書籍出版事業は新たに発足した株式会社交通新聞社に引き継ぎ、当会は交通図書賞の選定表彰など、非営利の公益事業に専念することとなり、2011(平成 23)年には公益財団法人交通協力会として新たな出発をしました。

電子図書館「戦中戦後の交通と国有鉄道」

交通関係の年次刊行物や、旧国鉄の機関誌類をデジタル版として復刻し、電子図書館に収蔵しています。既に『交通年鑑』・『日本国有鉄道監査報告書』・『国有鉄道』・『国鉄線』・『交通技術』・『鉄道辞典』を収蔵し、今後『日本国有鉄道百年史』などを収蔵する予定です。

当会ホームページ <http://transport.or.jp> の電子図書館にアクセスし、ID・パスワードを入手すると、無料で閲覧することができます。

『鉄道百五十年史』編纂事業

わが国の鉄道は 2022 年 10 月に創業 150 年を迎えます。『日本鉄道史』、『日本国有鉄道百年史』に続く正史編纂の好機ですが、鉄道省も日本国有鉄道も存在しない現在、編纂の主体や、旧国鉄時代の資料発掘など困難な課題もあります。当会は 2012 年に鉄道史資料調査センターを設置し、新しい鉄道史編纂に備えて調査・研究活動を進め、2015 年 11 月からは当会が事務局となって、国交省、鉄道・運輸機構、旧国鉄承継法人、民鉄協会などが参加する「鉄道史に関する懇話会」を発足させて審議を重ねました。その結果、総事業費 3 億余円をかけて、国鉄・JR だけでなく民営・公営鉄道を含む鉄道 150 年の総合史(全 5 巻および資料編 1 巻)を編纂し、2022 年度に刊行することが決まり、2017 年 4 月、東京大学名誉教授原朗先生を委員長とする『鉄道百五十年史』編集委員会が発足しました。当会は編集委員会の事務局を務めるとともに、完成した『鉄道百五十年史』を当会の名で出版することになります。

編集委員会は 2 年間にわたって精力的な議論を重ね、本年春、全 5 巻の詳細な記述内容を確認しました。現在は、各巻 2 名の編集委員(経営史、技術史の専門家各 1 名)計 10 名のほか、約 60 名の分担執筆者が加わって、資料に基づく具体的な執筆の段階にはいっています。巻別の内容は、第 1 巻「創業から国有鉄道の誕生まで」、第 2 巻「帝国の鉄道の形成・発展・崩壊」、第 3 巻「復興期から高度経済成長期の鉄道」、第 4 巻「交通市場の変容と国鉄の経営危機」、第 5 巻「JR と民鉄の時代」となっており、1949 年の日本国有鉄道発足から 1987 年の国鉄改革までの約 40 年間に 2 巻を充てて、この時代に特に重点を置いた構成になっています。全巻にわたって旧国鉄・JR だけでなく民公営鉄道の動向にも目を配り、また技術史にも出来るだけ多くのスペースを充てるほか、グローバルな視点から日本の鉄道の発展をとらえることを目指しています。

3 億円をこえる事業費は、JR 各社のほか民鉄など鉄道事業者、鉄道と関係の深い諸団体や企業などからの寄付で賄い、文字通りわが国鉄道関係者の総力を結集した事業となっています。

団体名	「横浜市電 1156 号保存会」	〒231-8445 Tel : 090-9015-3707 / 090-8036-2383 Email : yokohamashiden1156@gmail.com 担当者：齊藤 大起（さいとう ひろき）
-----	------------------	---

■団体の趣旨

横浜市港南・磯子区の久良岐（くらき）公園に展示されている「横浜市電 1156 号」を修復・維持するとともに、毎月 1 回、車内を公開するイベントを開催しています。1156 号は 1952 年に製造され、横浜市電が 1972 年に全廃されるまで走り続けました。代表的な形式だった 1150 号型の最後の現存車両でもあり、貴重な存在といえます。車両を保存するだけでなく、電停や架線など周囲の情景も再現し、往時を知る人たちへの聞き取り活動も並行して続けながら、「街に市電が走っていた頃」を伝える「よすが」を目指しています。

***新型コロナウイルス感染拡大の影響で、毎月の車内公開は当面の間、中止します。**



▲輝きを取り戻した現在の 1156 号



▲照明を点灯した夕方の姿

■保存の経緯

2010 年末、神奈川新聞の記者（齊藤）が、荒廃していた 1156 号が解体されるとの情報を聞きつけ、管理当局の横浜市に修復など保存活動を申し出たことがきっかけです。

当時は窓ガラスやドア、前照灯、尾灯、座席などの部品・機器類が全て失われ、とても哀れな姿になっていました。40 年近くにわたる屋外展示で風雨にさらされ劣化したことに加え、悪意ある人たちによる破壊、盗難などがその理由です。

時を同じくして、公園の近くに本社のある塗装業大手「サクラ」が、地域貢献の一環でボランティアによる修復作業に協力してくれることになり、横浜市環境創造局、サクラ、神奈川新聞社の 3 者で 1156 号の修復・保存を進めていくための覚書を締結しました。

修復作業は足場を組み、2 カ月を費やす大がかりなもので、失われていた窓ガラスやドアなどを極力再現。前後のライトや室内灯も点灯可能としました。座席は相模鉄道から寄贈していただきました。

さらに 2014 年には同局が車両周辺を大規模に改修し、擬宝珠のような飾り「ポールトップ」を載せた架線柱や、架線、それに電照式の電停標識も新調しました。道路から発掘された市電のレールを車両の前後に埋め込むことで、わずかながら路線の“延伸”も実現しました。

夕方には車両や電停などに明かりがともり「まるで現役時代のような」との声をいただいています。

■横浜市電とは



1904（明治 37）年、民営の横浜電気鉄道として横浜市内に開業した路面電車。軌間 1372 ミリ。昭和 30 年代の最盛期には総延長 52 キロの路線を運行し、年間に 1 億 2 千万人を輸送したものの、道路の渋滞や国鉄根岸線の開業などの影響を受け、1966 年以降、順次廃止が進み、1972 年 3 月 31 日に全ての路線がバスに置き換えられ、営業を終えた。他事業者への譲渡車両はなく、現存するのは横浜市磯子区にある「市電保存館」の 7 両のほか、市内に 4 両が残るのみ。

◀窓ガラスやドア、ライト、部品などが全て失われ、荒れ果てていた 2011 年当時の 1156 号

団体名	公益社団法人 横浜歴史資産調査会 (ヨコハマ ヘリテージ)	〒 231-0012 横浜市中区相生町 3 丁目 6 1 泰生ビル 4 0 5 号室 Tel/Fax 045-651-1730 URL : http://www.yokohama-heritage.or.jp/ Email : yh-info@yokohama-heritage.or.jp
-----	----------------------------------	--

—旧湘南電気鉄道 瀬戸変電所の保存・活用について—

京浜電気鉄道（以下京急）の前身である湘南電気鉄道創業時の瀬戸変電所が現在も健在だ。場所は、京急本線と逗子線が分かれる金沢八景駅西側、上り線ホームのすぐ脇である。昭和4年に建造された瀬戸変電所は、鉄筋、鉄骨コンクリート製の建物で、昭和58年まで使用されていた。現在は、整流器や関連機器は取り払われ、碍子、天井クレーンや大きな室内空間が当時の名残として息づいている。ここで生まれた直流電源で、湘南デ1形から始まった湘南や京急の名車がモーター音も高らかに高速で首都圏と湘南地区を結んでいた。1000形、600形、2000形の快速特急が活躍できたのは、瀬戸変電所があったからなのである。そしてこの建物が湘南電鉄時代を代表する建造物として現存する貴重な近代化遺産でもある。

約4年前、老朽化を理由に京急は、瀬戸変電所の取り壊しを決めた。これに対して当公益社団と横浜市都市デザイン室が京急に保存を申し出た。幸い京急は保存に理解を示し、方向を転換。当公益社団と横浜市がコラボして修理後、保存・活用することになった。これまでにコンクリートの強度検査や地盤、建物の耐震等を専門の研究者に依頼して調査を実施した。さらに2020年度からは、耐震や修復工事に向けた工事費の見積もりに入った。

今後は、京急から当公益社団が建物の寄贈を受け、修復を行い保存・活用する予定だ。変電所の保存事例では、旧信越本線碓氷鉄道施設の丸山変電所（国重要文化財）が知られるところである。瀬戸変電所は駅隣接の立地を生かし、魅力的な活用を模索している。

皆様のご支援ご協力を改めてお願いいたします。



旧湘南電鉄瀬戸変電所は、金沢八景駅に隣接



内部は建設当時の面影をよく残す



洒落たデザインのバラ窓



大きな碍子やアングル材も保存

団体名	新潟市新津鉄道資料館	〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町 2-5-6 TEL 0250 (24) 5700 FAX 0250 (25) 7808 E-mail : railwaymuseum@city.niigata.lg.jp URL : http://www.ncnrm.com/ 担当者：加藤 裕之
-----	------------	--

◆新潟鉄道資料館概要

昭和58年、旧新津市が新津市鉄道資料館を開設しました。
 平成10年4月、旧国鉄の鉄道職員研修所「新潟鉄道学園」を買い取って改修し、2代目新津鉄道資料館として現位置に移転しました。
 平成17年に新潟市との広域合併により「新潟市新津鉄道資料館」となり、平成26年7月にリニューアルオープンしました。

200系新幹線、C57形19号機蒸気機関車、485系特急形電車、DD14形液体式ディーゼル機関車、E4系新幹線、115系近郊形電車、新幹線確認車GA-100を静態保存しています。
 新潟・新津地域の鉄道を地元と共に最大限活用する施設として、鉄道産業を「鉄道文化」として発信していきます。



200系新幹線・SL C57形19号機

◆施設概要

1. 位置 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
2. 交通 信越本線新津駅下車バスで5分。磐越自動車道新津ICから車で2分
3. 建物 鉄筋2階建、延べ1,764㎡（屋外展示場除く）
4. 展示品 新潟・新津ゆかりの鉄道資料約800点
5. 特色 実物車両7両展示、電車運転シミュレータ、ミニSL(D51形の縮尺1/5)など

◆令和2年度事業

- ①9月5日～10月19日 特別展「新潟の特急・急行―優等列車の地域史―」
 新潟県内を走行した優等列車に焦点を当て、その盛衰とそこから見える地域の歴史について紹介
 - ②4月～10月 土日・祝日を中心にミニSLを運行
 - ③まちなか鉄道資料館
 新津商店街に新津鉄道資料館所蔵大型資料を設置・展示（SL動輪・踏切警報機等）
 - ④鉄道模型走行会 新潟市内の鉄道模型愛好団体の協力を得て開催
 - ⑤その他 鉄道七夕、鉄道書初め、鉄道友の会新潟支部展示、実物車両車内公開 他
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催しているサンクスフェアや特別記念講演会などを開催中止としています。



◆実物車両展示



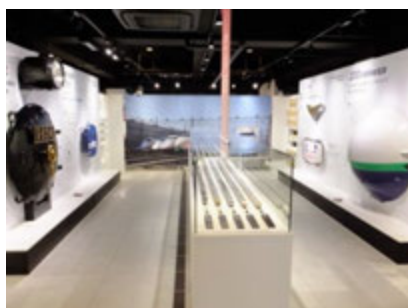
E4系新幹線と115系電車



新幹線確認車 GA-100



DD14形機関車と485系電車



鉄道の仕組みコーナー



ミニSL「にいつきてきち号」はお子さんに人気

団体名	上松町 赤沢森林鉄道 (経済産業省「近代化産業遺産群」一部認定) (文化庁「日本遺産(Japan Heritage)」認定)	〒399-5603 長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13 Tel : 0264-52-4804 Fax : 0264-52-1038 URL : https://kiso-hinoki.jp E-mail : syoukan@town.agematsu.nagano.jp
-----	--	---

令和2年度のスタートは「新型コロナウイルス感染症」に対する国の非常事態宣言や、外出自粛といった事柄により各観光施設が自主的な閉園を余儀なくされ、赤沢の森林鉄道においても自然休養林の自主的な閉園とともに休業せざるを得ませんでした。6月によりやく開園・運行開始となったのも束の間、「長野県7月豪雨」によるアクセス道路の被災で再度の閉園となってしまいました。幸いにも鉄道敷等に不具合は見当たらなかったことと、関係各所の尽力によって道路の仮復旧作業が完了し、8月11日に再開園してお客様を迎え入れることができました。

2020年、赤沢森林鉄道は、次の日程で運行しています。

○2020年度運行日程

今シーズンは11月8日まで、軌道整備日を除いて毎日運行しています。

【運行時間】

土曜・日曜・祝日・夏季及び紅葉シーズン

9:30から15:30の30分毎に1便運行。

※上記以外の平日は10:00から15:00までの1時間毎に1便運行。



【乗車料金】

通常時：大人（中学生以上）900円 小人（4才から小学生）600円

【赤沢森林鉄道 AFT-01】

【運行区間】

森林鉄道記念館前から丸山渡停車場 往復約2.2km 約25分

《廃線跡をたどる散策は如何でしょう》

旧国鉄「上松駅」を起点に縦横無尽に張り巡らされていた木曽の森林鉄道が1975年に廃止となったことは皆様もご存じのとおりです。

それから50年近くが経過する中で、木曽の森林鉄道が日本遺産に認定（王滝森林鉄道）されていますが、この他にも木曽の森林鉄道は2013年度に（一社）日本森林学会から林業遺産認定を受けていますので、赤沢森林鉄道のルーツでもある「小川森林鉄道」の認定遺構をあらためてご紹介します。

【十王沢橋梁と銘板（昭和拾壱年横河橋梁製作所）】



【鬼淵鉄橋】



【SLボールドウィン】



【小田野橋梁】



十王沢橋梁、鬼淵鉄橋・小田野橋梁ともに通行はできませんが、静かにたたずむ姿を見ながら、往時の隆盛に思いを馳せてみてください。
この他にも赤沢自然休養林に向かう道すがらで、林業遺産には認定されていないものの数多くの橋脚や橋梁桁などが残されています。季節の移ろいとともに風景の一部に溶け込む遺物をみて、赤沢森林鉄道に乗り込まれるのもまた良いものです。

団体名	足久保鐵道株式会社	〒 420-0905 Tel : 054-207-7444 Fax : URL : https://www.facebook.com/ashikubotetsudo/notifications/ Email : tamai-h@tokai.or.jp 担当者：玉井宏政
-----	-----------	---

昨年11月には、静岡市より「みのり大学」の講師として、「保存鉄道と地域創生」をテーマに2時間半の講演を行いました。評判は上々だったと思います。足久保鐵道株式会社として地方創生に貢献できるよう活動を進めたいと考えております。

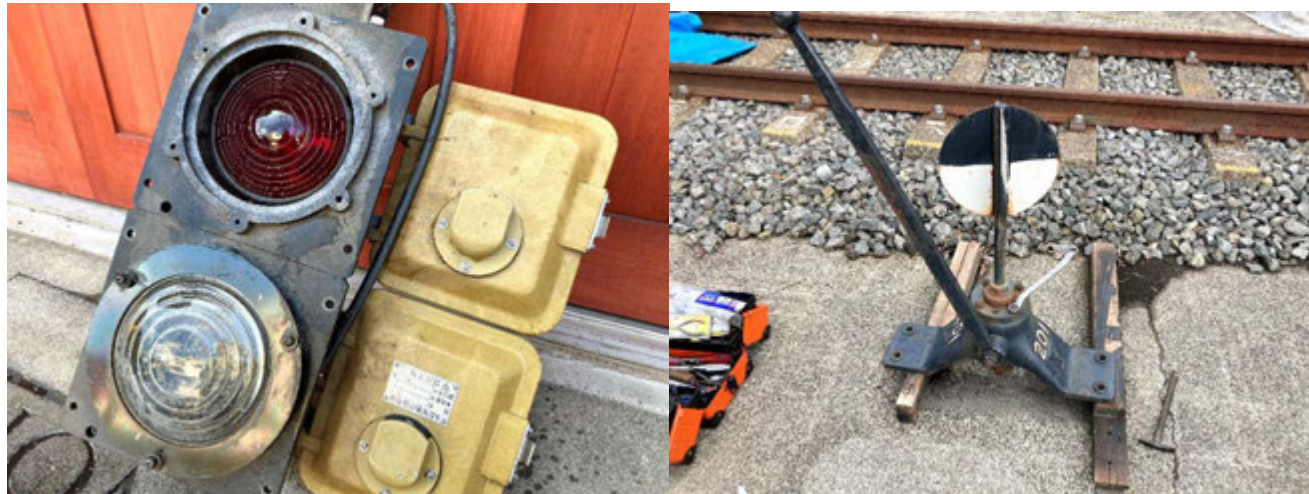
また、本年3月～4月にかけて群馬県吾妻郡中之条町の旧太子駅に保存されているアント15Wの修繕を行いました。現場修繕が困難であり復活に至りませんでした。



他にも、無蓋貨車トラの再塗装を始めましたが、天候不順で思うように作業が進みません。



最近は信号灯の補修とポイントリバーS型の修復も行っています。



団体名	大井川鐵道株式会社	〒428-8503 Tel : 0547-45-4113 Fax : 0547-45-4115 URL : oigawa-railway.co.jp Email : koji.sakamoto@daitetsu.jp 担当者：坂本光司
-----	-----------	---

本年度も「きかんしゃトーマス号」の運転を行っておりますが、新型コロナウイルスや6月～7月の大雨による線路障害の影響により、2020年10月19日まで新金谷駅～家山駅間2往復運転を行っております。

C11190号機は現在メンテナンスの最中で、秋ごろにはお目見えする予定です。



本年10月2日井川線アプト区間開業30周年を迎えます。新型コロナウイルスの影響により記念式典などは来年に延期となりましたが、記念のグッズを井川線へお越しいただいたお客様に配布する予定です。



団体名	東海旅客鉄道株式会社 リニア・鉄道館	〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭 3 丁目 2-2 TEL 052 (389) 6100 https://museum.jr-central.co.jp/
○入館料 大人 1,000 円 (団体 800 円) 小中高生 500 円 (団体 400 円) 幼児(3歳以上) 200 円 (団体 100 円) ※障がい者手帳をお持ちのお客様と付添の方 大人 500 円、高校生以下 200 円 ○休館日 毎週火曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始/12 月 28 日~1 月 1 日 ○展示 鉄道車両 39 両+バス 1 台、鉄道のしくみコーナー、 超電導リニア展示室、歴史展示室、鉄道ジオラマ、 シミュレータ、シアターなど		
 【高速鉄道技術の進化が一望できる車両展示エリア】		
【2019~2020 年の記事】 ○ホジ 6014 号蒸気動車 重要文化財指定 (2019/7/23) JR東海で初、中部地区鉄道車両もで初 (鉄道車両では9例目) ガイドツアーの実施 (2019/5/19~) パンフレットの制作、配布 (10,000 部) ○屋外展示車両の置き換え N700 系量産先行試作車 3 両 (2019/7/17~公開) ○第9回企画展 (2020/3/18~2021/1/25) 「東海道新幹線 技術の進化」 ○特別講演会 望月 旭氏「100 系新幹線電車のデビューと果たした役割」(2019/9/15) 須田 寛 JR東海相談役「ホジ 6014 号蒸気動車の重要文化財指定にあたって」(2019/10/14) 中西 あきこ氏 須田 寛 JR東海相談役「鉄道文字の歴史」(2019/12/1) ○映像シアター 新コンテンツの公開 (2020/6/3~) 『東海道新幹線の進化~100 系新幹線電車のデビューと果たした役割~』 ○車両ガイドツアー 「みどころガイド」(通年) 「クロ 381 形式電車車内特別ガイド」(2019/5/1~5/26) 「ホジ 6014 号蒸気動車」ガイド (2019/5/19~2020/2) 「新幹線の省エネ」ガイド (2019/8/2~9/1) 「新幹線の7つのひみつ」ガイド (2019/9/14~10/20) 「N700系新幹線」ガイド (2019/10/22~12/1) 「クモハ 165 形式電車」ガイド (2019/12/7~2020/2) 「並べて比べて新幹線」ガイドツアー (2020/8/8~) ○その他 鉄道模型の特別展 (2019/10/2~12/27)、 鉄道の標記文字のひみつ特別展 (2019/10/24~12/27) ヘッドマーク特集 (2020/6/3~9/7) など ●COVID-19 対応により臨時休館 (2/29~6/2)		
		  ホジ 6014 号蒸気動車

団体名	公益財団法人 博物館 明治村	〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地 Tel : 0568-67-0314 Fax : 0568-67-0358 URL : http://www.meijimura.com/ Email : masataka.kondou@nrr.meitetsu.co.jp 担当者：近藤 雅隆
-----	--------------------------	--

<蒸気機関車>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる動態展示物の車両点検を3ヶ月に1回実施。
- 2019年9月よりSL12号オーバーホールを(株)東海汽缶で実施。現在、当館にて試運転を実施中のため運行再開は未定。
- SL9号で動態展示を実施。※メンテナンスのため運休日あり。
- ボイラー検査をSL9号は11月28日(木)に実施。
※SL12号は2019年9月からボイラー休止中。



<ハフ 11・13・14>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を3ヶ月に1回実施。

<京都市電>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を3ヶ月に1回実施。

<設備工事・点検>

- 名鉄E1エンジニア株式会社による電路・電気設備点検を半年に1回実施。
- 矢作建設(株)による軌道点検整備を半年に1回実施。

<蒸気機関車及び京都市電の動態展示>

蒸気機関車※SL9号とSL12号のどちらかが3両の客車を牽引します。

片道 大人 500円 小学生 300円

京都市電※1号車と2号車のどちらか1両が運行します。

1乗車 大人 500円 小学生 300円

SL市電一日券

乗り降り自由 大人 800円 小学生 500円



SL9号・SL12号



京都市電

団体名	NPO法人 愛岐トンネル群保存再生委員会	〒463-0032 愛知県名古屋市守山区白山 1-708 Tel : 090-48604664 URL : https://aigi-tunnel.org/ Email : muramasa@mc.ccnw.ne.jp 担当者：理事長 村上 真善
-----	---------------------------------	--

会員 各位

コロナ感染渦に巻き込まれ、ご同慶の至りです。しかし、乱世の世相が変化すれども我らが“鉄みち”は変わらず、想いを貫いて真っすぐに直進しませう。

毎年、春と秋の季節に合わせ計2週間程度の「特別公開」を開催して全国から多くの観客が来訪していましたが、24回目となる今春の公開が、コロナ蔓延下、自粛せざるを得なくなりました。

実は、今年の春・秋の公開により、14年間の延べ入場者数が30万人を突破することが確実だったため、突破記念行事を計画していたのですが、春公開を中止し、今秋の公開もPRをなくして質素にひそやかに開催することにしました。結果、「市民力だけで30万人突破！」という金字塔を、無関心をきめこむ地元行政へアピールできなかったことは残念です。

鉄道といえば、名古屋～多治見間の中央線の一部開通したのが明治33年（1900年）。つまり今年が開業120周年の年に当たります。昨年末よりJR・県・市など関係する組織へ「記念行事を開くなら協力させて」とジャブを繰り返していましたが、無反応。それならばと当会独自に「120周年 記念切符の配布」を実施しました。開業日の7月25日に合わせ愛岐トンネル群の現地無料開放と先着600人へ3枚セット切符の無料配布というものです。初日の25日は豪雨でしたが、翌26日の予備日には午前中に早々と完売、翌日にはネット上で何と1500円で売り出されるなど、好評？だったようです。



また3年目になる夏の週末の昼間限定開催の「トンネル ビアホール」は、自粛ムードの中、3密がなく、下界より10度近くも涼しいという環境のおかげで年々入場者が増加しており、将来、夏の風物詩になる手ごたえを実感しています。



※ちなみに“ホール”とは “hall（大広間）”ではなく“hole（穴）”をもじっています。

団体名	NPO 法人 神岡・町づくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局	〒 506-1147 Tel : 090-7020-5852 Fax : 0578-82-6677 URL : https://rail-mtb.com/ Email : info@rail-mtb.com 担当者：田口 由加子
-----	---	---

2020 年度は、
営業自粛のため 6 月 1 日から営業スタートしました。

年明けからのコロナ禍により、3 月～5 月中のレールマウンテンバイクの営業と、6 月までの運転体験の自粛休業を余儀なくされました。その間に感染症対策を検討・準備し、6 月 1 日から現在では粛々と通常運行を行っております。

感染症対策として、毎便ごとの自転車の消毒・手指消毒と手洗いの励行・お客様の

の検温装置の設置・換気の徹底等を行っております。また、運転体験では、運転手の交代ごとにハンドルの消毒等を行っております。

お客様の動向としては、遠方からのお客様は減少していますが、逆に県内や隣接県のお客様が増加傾向にあります。



Rail-MTB Gattan Go!!
レールマウンテンバイク ギッタンゴー

新型コロナウイルスに対して、
はこんな対応をしています。

3つの **密** を避けて、安心、楽しいご乗車を♪

- 寒くても換気 密閉空間**
- 人がたくさん 密集場所**
- 適度な距離感 密接場面**

営業中はずっと！
窓は開ければなしです。
いい風、入ります♪
秋はけっこう寒いです。

8割減らしました
長い説明タイムを省いたので、
注意事項をよく読んでください。

少し離れて 並んでください。
受付ではちょっとお時間を
頂くことになります。

その他、こんなことをしています！

- ・お客様の利用便ごとに、ハンドルやイスを消毒液で拭いています。
- ・マスクとシールド着用で接客させていただきます。

群馬県東吾妻町へ
レールマウンテンバイク車両を納入させていただきました。

群馬県のハッ場ダム建設に伴う JR 吾妻線の一部区間の変更により廃止となった区間を利活用した、自転車型トロッコ「アガッタン」が本格運行を開始しました。こちら飛騨のガッタンゴー!!からは、電動アシスト自転車車両とスーパーカブを取り付けたバイク車両を納入させていただきました。

鉄道が走っていたころから名勝吾妻峡の景色を四季折々に楽しめる路線として有名で、日本一短い樽沢トンネルや周辺の鉄道遺構等はそのまま残っており、ハッ場ダムまでの延伸計画もあるそうです。詳しくは公式 HP「吾妻峡レールバイク アガッタン」で検索、ぜひ一度、ご体験ください！



名誉館長 米山 淳一(日本鉄道保存協会 事務局長)
館長 今井 克美(公益社団法人長浜観光協会 専務理事)
担当者 梅園 いつ子(公益社団法人長浜観光協会)

●旧長浜駅舎 明治15年3月10日、長浜～敦賀の北陸線始発駅として開業。昭和58年に鉄道資料館として開館。現存する日本最古の駅舎です。令和2年6月19日、旧長浜駅舎を含む鉄道遺産「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」が認定されました。

●長浜鉄道文化館 公益財団法人ナショナルトラストが、まちづくり事業の活動支援の拠点「ヘリテイジセンター」として2000年10月に設置・開館しました。長浜の鉄道文化を後世に伝える資料館として常設展示の他、企画展示も行っています。建築家・吉田桂二氏設計で天井はヨーロッパのターミナル駅を模した木造アーチづくりです。

●北陸線電化記念館 鉄道文化館と同様の趣旨で2003年7月に開館しました。機関車庫をイメージした建物で吉田桂二氏設計によるものです。D51形蒸気機関車と日本で唯一残る交流電気機関車のED70の1号機を展示しています。



令和元年度 開催企画展・イベント

【企画展】

- 旅する鉄道写真家 石黒義章写真展 ～平成に撮った鉄道名場面～ 【2019/4/27～6/23】
- 天賞堂鉄道模型展 【2019/7/6～9/30】
- C56が牽くSL北びわこ号 ～服部ひろみ写真展～ 【2019/10/5～12/28】
- 鉄道写真家 真島満秀の世界展 【2020/1/10～5/10】



【イベント等】

- 鉄道の日企画「親子で鉄道を磨こう」【2019/10/14】
- 北陸線電化記念館北扉オープン 【2020/1/10】



現在開催中の企画展

- 鉄道写真家“清水 薫”追悼写真展「滋賀・琵琶湖を巡る鉄道写真風景」【2020/7/11～12/28】

今年4月に急逝された鉄道写真家・清水薫さんの写真を一堂に展示。

9月5日からは日本遺産認定記念企画展も同時開催。



公益社団法人長浜観光協会

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地

TEL.0749-65-6521 FAX.0749-64-0396

E-mail. kankou@city.nagahama.shiga.jp <http://kitabiwako.jp/tetsudou>

tripadvisor2019 エクセレンス認証に認定されました！！

日本遺産に認定されました！！



団体名	長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会 (事務局：南越前町観光まちづくり課)	〒919-0292 Tel：0778-47-8002 Fax：0778-47-3261 Email：kanmachi@town.minamiechizen.lg.jp 担当者：西田 周平
-----	---	--

○協議会概要

長浜市・敦賀市・南越前町に現存する明治時代の鉄道遺産など、近代化遺産を活用した広域的な観光連携を推進するため、平成29年10月19日に、長浜市・敦賀市・南越前町の3市町において連携協定を結び、協議会を設立しました。

当協議会では、明治15年に日本海側で最初に開業した長浜－金ヶ崎（敦賀）間の鉄道の歴史や、敦賀－今庄間の急勾配の峠越えなどのストーリーを活かし、県境をまたいだ広域観光を推進していきます。

○令和元年度事業実績

- ① 5月31日
 - ・長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会総会
- ② 6月～3月
 - ・トンネルカード配布・増刷
- ③ 9月26日、27日
 - ・日本鉄道保存協会総会エクスカージョンの開催
- ④ 11月8日
 - ・トンネル探究家による近代化遺産ガイド研修会
- ⑤ 11月30日、12月1日
 - ・つるが鉄道フェスティバルへの出展及びバスツアーの開催
- ⑥ 12月18日～2月
 - ・有名漫画家とのコラボキャンペーン
(鉄道遺産SNS投稿キャンペーン&フォトコンテスト及びパネル展)
- ⑦ 12月～3月
 - ・トンネル探究家によるWEB記事掲載
- ⑧ 1月15日
 - ・日本遺産への申請（令和2年6月認定）
「海を越えた鉄道
～世界へつながる鉄道のキセキ～」



■2019年度の活動経過

2019年度は、有蓋緩急車ワフ21000形21120の修復披露イベント、公式ガイドブック第3版(1,200円)の発刊を行った。



修復が完了した
西濃鉄道ワフ21120
2019年12月23日

■2020年度の活動計画

2020年度は、大物車シキ160形160、木製有蓋車ワ1形5490・ワ11形11の修繕作業などを行う。



シキ160 下地サビ止め塗装中
2020年3月1日

◆2020年度定期開館日

2020年4月5日(日)、5月3日(日)、6月7日(日)、7月5日(日)、8月2日(日)、9月6日(日)、
10月4日(日)、11月1日(日)、12月6日(日)、2021年1月10日(日)、2月7日(日)、3月7日(日)
(2020年4月・5月開館日は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため休館)

団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒 530-8341 Tel : 06-6375-2176 URL : https://www.westjr.co.jp/ (JR 西日本) http://www.kyotorailwaymuseum.jp/ (京都鉄道博物館) Email : shinichi-saji@westjr.co.jp 担当者 : 佐治 慎一
-----	-------------	--

1. 京都鉄道博物館

西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）が所管する
京都鉄道博物館は、2020 年 4 月に開業から丸 4 年となりました。
2020 年 2 月には累計入館者 400 万人を達成しました。
多くのお客様のご来館、誠にありがとうございました。

京都鉄道博物館では、本物の蒸気機関車が牽引する「SL スチーム号」や「引込線車両展示」、現役の JR 社員が子供達に鉄道のお仕事を解説する「鉄道おしごと体験」など、楽しく学べる企画がいっぱいです。加えて「運転シミュレータ」や「鉄道ジオラマ」も大人気！

SL スチーム号



運転シミュレータ



鉄道ジオラマ



引込線車両展示

保線社員による鉄道おしごと体験



JR 貨物「EF200 形式直流電気機関車」
日本通運「シキ 800 形式貨車」

JR 四国「志国高知 幕末維新号」

鉄道OBによる
ボランティアガイド

梅小路京都西駅

国鉄や当社OBによるガイドも好評！

2019 年 3 月には京都鉄道博物館近くに
「梅小路京都西駅」が開業！

※新型コロナウイルスの影響により、2020 年 2 月 29 日から 6 月 14 日まで臨時休館しました。
※現在、一部の展示、体験、イベントの中止や施設の閉鎖など、利用制限を実施しています。

2. 鉄道文化活動

JR 西日本では、京都鉄道博物館を中心に、当社エリア内の鉄道遺産を保存・管理し
これらを活用する、鉄道文化活動を推進しています。

団体名



公益財団法人
交通文化振興財団

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目2-26
天神第一ビル1004号室
Tel : 06-6309-5113 Fax : 06-6309-5114
URL : <https://tcpf.or.jp/>
担当者：事務局交通資料調査センター

○交通資料調査センターの活動

当財団の交通資料調査センターでは、交通の歴史と文化を未来へ継承するために、交通に関わる歴史資料の収集・保存や各地に残されている歴史遺産の調査活動を実施しています。

歴史資料の収集・保存

交通の歴史や文化に関わる文書類、写真、記念品、記録、文献等の資料類の散逸を防ぐため、それら資料の収集・保存を実施しています。収集方法は主に皆様からの寄贈で、昨年度は1万点を超える資料を寄贈いただきました。また、所蔵資料の一部は、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」で公開しています。



歴史遺産調査

交通に関わる歴史的・文化的事物の現地調査等を実施し、現状を写真や記録として後世に伝える活動を進めています。他団体様からの依頼による調査や共同での調査にも対応しておりますので、お気軽にご相談ください。



～皆様からのご寄附が、交通の歴史と文化を未来に伝える大きな力となります～

交通資料調査センターの活動は皆様からのご寄附により支えられています。交通の歴史・文化を着実に未来に継承していくため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

交通文化振興財団



団体名



加悦 S L 広場

宮津海陸運輸(株)

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2

TEL 0772-46-1155 FAX 0772-46-1166

〒629-2251 京都府宮津市字須津413

近況

■ 2020年3月31日 加悦 S L 広場を「閉園」致しました

昭和60年加悦鉄道の廃線以降、加悦 S L 広場は多くのお客様にご愛顧いただきまして、何とか今日まで微力ではございますが一私設企業として鉄道遺産の保存に取り組んでくる事が出来ました。しかしながら、広場に展示している27両の車両を修復・維持しつつ施設の安全対策を万全に期す事が非常に困難な環境となり、お客様に安全面で安心して施設をご見学、ご利用いただく事が出来ないという判断に至りこの度、断腸の思いで「加悦 S L 広場 閉園」を決断した次第です。施設運営期間中には多くの皆様にご協力頂きました事、重ねて御礼申し上げます。

現在、広場にある車両保存を最優先として、重要文化財「123号蒸気機関車」や「古典客車」など加悦鉄道車両群を1両でも多く同地「与謝野町」へ残すべく、NPO法人 加悦鉄道保存会様や各方面の皆様の協力添えを頂きながら協議を進めております。

そして、その他の車両も貴重な鉄道遺産という認識のもと、各車両のご縁のある団体様などからもご提案やご支援を頂きながら、こちらも保存協議を進めている状況です。

(2020年8月31日現在：27両中 約7割の18車両は具体的な保存のご提案を頂いております)

また、123号機関車(加悦鉄道2号機)を重要文化財に指定に頂きました事、旧加悦鉄道走行車両他、日本全国の貴重な鉄道車両等の保存活動は、先人の皆様、現在も携わっておられる皆様のご尽力の賜物であり、心より敬意と感謝を申し上げますとともに、歴史ある多くの鉄道文化遺産を弊社の手で保存出来ました事、社員一同光栄に存じます。

コロナ過という事もございまして、まだまだ保存の動向は不透明な部分も多く、本報告書の作成時点では、皆様へご報告できる事も少なく、ご心配とご迷惑をお掛けいたしますが、引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒、宜しくお願い申し上げます。

宮津海陸運輸株式会社



団体名

特定非営利活動法人
加悦鐵道保存会

〒629-2403

京都府与謝野町加悦433番地 旧加悦鐵道加悦駅舎

TEL/FAX 0772(43)0232

HP <http://kayatetsu.web.fc2.com/>

■ 2019年9月～2020年8月までの主な活動



9月16日 C160譲渡式
京都市大宮交通公園にて



12月3日～4日 C160輸送
加悦鐵道資料館に据え付け



11月2日～3日 加悦SL広場「周年祭」
今回は2日間の開催



車輛の活用について
米山氏による講演



3月28日～29日
「さよなら加悦SL広場 再現列車運転会」



3月31日
加悦SL広場閉園

■ 加悦SL広場閉園と今後について

3月末をもって「加悦SL広場」が閉園されました。これまで20年以上の長きに渡りSL広場で活動してきた保存会にとって痛恨の極みです。私どもは早くより加悦鐵道ゆかりの車輛の保存を積極的に推奨してきました。「2号機関車」「ハ4995」「ハブ3」の古典車輛3両を加悦鐵道資料館に保存することを強く求めています。他の車輛も町有地に動態保存や静態保存を実現すべく活動中ですがどれも厳しい状況です。保存会としては、旧加悦鐵道沿線に保存されてこそ、その存在価値が発揮されるものとの思いがあります。ただ自治体との調整や移設費用、保存経費等、多くのハードルをクリアしなければなりません。ご心配をお掛けし申し訳ありませんが、加悦鐵道の歴史を後世に伝えるべくベストを尽くします。よろしくお願い致します。

令和元年度 片上鉄道保存会 活動報告書

〒708-0001 岡山県津山市小原149-5

URL: <http://katatetsu.travel.coocan.jp>

Email: hozonkai@katatetsu.travel.coocan.jp

担当者: 代表 甲本 康則

片上鉄道保存会は、岡山県久米郡美咲町吉ヶ原にあります「柵原ふれあい鉱山公園」で、旧片上鉄道の車両や施設などの保存・維持活動を行っています。

展示運転概況

2019年度の展示運転は、定例展示運転が11回(4月から2月)、臨時展示運転が2回の計13回でした。体験乗車をされた一日会員数は 延べ約 2300名でした。

車両

展示運転に使用できる車両は、動力車4両(機関車1,気動車3),客車3両,貨車3両です。しかしながら車両の老朽化が著しくなり、また動力車の故障が相次いだために予備車の余裕がなく、故障対応に追われたために客車の運用はできませんでした。気動車の機関整備・調整を中心に活動を行った結果、気動車は3両共に走行可能な状態に復旧しました。



施設

美咲町役場が鉱山公園の整備の一環として、着福柵原駅の着発線延伸部分を覆う長さ45mの建屋(大屋根)を計画され、十月初旬完成を目指して現在工事中です。露天展示となっている一部車両を收容するためのもので、保存作業の効率化にもつながり、今後の活動の励みにもなっています。



本年度はコロナ禍の影響で3月から6月まで活動休止をせざるを得ない状況でした。7月からは保存活動を再開しました。運転休止を機会に会員一同初心にかえり、各担当の安全確認を各自共有するべく、教習・訓練を行っています。また感染予防を含めた安全対策を見直しているところです。老朽激しい車両にたいしても、塗装の復旧から取り掛かりました。新しいかたちでの展示運転再開に向けて、これからも活動を行ってまいります。



若桜駅を元気にする会

〒680-0701

鳥取県八頭郡若桜町若桜801-5

若桜町役場ふるさと創生課内

TEL:0858-82-2231

FAX:0858-82-0134

E-mail:furusato@town.wakasa.tottori.jp



若桜駅・駅周辺の近況

例年多くの観光客で賑わう若桜駅構内の蒸気機関車(C12-167)やディーゼル機関車(DD16-7)の運転体験、トロコ列車(元長野電鉄無蓋車ト6)の乗車体験、ピンクSLなどの各種イベントは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い残念ながら開催が中止されております。

令和2年3月には水戸岡鋭治氏デザインの観光列車「若桜号」がデビュー、若桜駅もリニューアルオープンしました。カフェも新設され、これからの観光誘致に期待が高まります。



観光列車「若桜号」の運行開始に沸く
若桜駅のホーム (2020.3.7)

リニューアルした若桜駅、待合室、
新設のカフェ (2020.3.7)



2019年8月～2020年8月までの主な取り組み



鉄道沿線に水仙の植栽。
(2019.11)

線路際を見事に水仙の花が彩って
くれました。(2020.4)

若桜駅を元気にする会では、若桜駅周辺及び若桜鉄道若桜線沿線の美化清掃活動、駅周辺で開催されるイベントへの協力などにより、若桜駅と沿線地域の振興に取り組んでいます。



団体名	N P O 市民文化財ネットワーク鳥取	〒 680-0022 鳥取県鳥取市西町 1-106 TEL 0857-26-1151 FAX 0857-22-4103 http://shiminbunkazai.net/
-----	---------------------	---

コロナ対策と鉄道と林業振興の連鎖を！地方振興こそ鉄道の役割！

中国原産の新型コロナウイルス COVID-19 は、世界中で蔓延し、企業に在宅勤務を迫り、人々に狭い自宅への蟄居を迫り、人々の交流を妨げ、人々の生活を委縮させた。結果として公共交通機関の利用者が見事に落ち込み、航空機、新幹線を始めとする各種運輸業は、何れも極めて厳しい経営状態となった。鳥取の若桜鉄道も例外ではなく、満を持して整備してきた観光列車も見事に空振りとなり、大幅な採算割れとなっている。しかし、考えてもみよう。コロナ禍の及ばない森林地域は、日本の国土のやがて 80% だ。コロナ禍に怯える都市の人々をこれらの地域に誘うのは、鉄道の役目でもある。都市の人々に林業体験を勧めるのも列車の役割である。鉄道利用の潜在的ニーズは、大きい。そしてその顕在化のカギは、林業振興である。

問題は、COVID-19 というのは、罹患しても発症せず、しかも他人に感染させる可能性のある保菌者を生むことで、このような保菌者を森林地域に誘うのは避けねばならない。観光客によって感染率が上昇している沖縄を見れば、海浜地域と森林地域の違いはあるが、これは鉄道でも森林でも対処出来る課題ではないことが、自明であるが、最近の報道によれば、フランスでは日本製の PCR 検査装置が使われており、20 分程度で結果が出るという。これは早晩もっと高速化するものと思われるので、各駅にこれを設置し、乗降客の健康診断を行うのは無理がない。実際、若桜鉄道の若桜駅には近接してわかさ生協病院がある。若桜鉄道の各駅舎に近接して各種の専門医のクリニックを開設すれば、総体として総合病院となる。若桜鉄道の車両編成にドクター車両を増設することも可能であろう。鉄道車両は、ドクターヘリや救急車よりも広いので、充実した医療設備を具えることも可能で、更にクリーンルーム技術を使って幾つかに区分すれば、感染症と非感染症の双方に対応することも可能であろう。

このような仕組みが整えば、森林地域の衛生を保持し、人々を森林地域に招くのに障害ない。

若桜の林業は、200 年を超える長伐期で長大で、通直、無節の良材を産出してきた。日本政府が進めている林業の機械化は、平坦な欧米の平坦な山林で開発された技術で、車両運搬を基本としているので、これを日本の山林に適用すれば、伐採した木材を 4m 以下の長さに切り縮めなければ搬出出来ない。この結果、わが国の木造建築現場では、主要な木材は長大な輸入材とせざるを得ず、国内産の木材は補足材、ないし化粧材としてしか使われなくなっている。需要の要望を見ない日本の林業政策の結果、国内産の価値を極端に低下させている。

日本の山林で行うべきは、索道、即ちケーブルによる長大な木材を搬出する技術の近代化である。近年のロボット技術を応用すれば伐採機械や植林の機械も索道で運搬する仕組みを開発可能であろう。索道で難しいのはケーブルを固定する塔の建設であるが、その最初の難題は適地選定で、それにはドローンが活用出来るよう。

このような技術が開発され、長大な木材が搬出されれば、この後は鉄道も活躍できよう。

林業が活発になれば、山村人口も増えるので、若桜鉄道は、客車も貨物車両も忙しくなる。(理事長 渡辺一正)



伝統的な木馬道



建設工事用索道

団体名	山口線 S L 運行対策協議会	〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号 山口県観光プロモーション推進室内 Tel : 083-933-3204 Fax : 083-933-3179 URL : http://www.c571.jp/ E-mail : c571@c571.jp 担当者：山谷 義貴
-----	-----------------	--

SL「やまぐち」号の概要

〔運転区間〕

新山口駅（山口県山口市） ⇄ 津和野駅（島根県津和野町）

※1日1往復

〔運転時刻〕

新山口駅 10:50 発 ⇒ 津和野駅 12:59 着

津和野駅 15:45 発 ⇒ 新山口駅 17:30 着

〔2020年運転日〕

8月1日～11月22日の土日祝日を中心に運行

（37日間）



8月1日、今期の運転が開始されました！

○当初は3月20日（金祝）の運転開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期に。一日も早い運転開始を望む声に支えられ、8月1日、ついに今期の運転が開始されました。

○くしくも、8月1日はSL「やまぐち」号運行開始41周年の記念日。

ただ、駅や車内での関連イベントはしばらくの間中止となっており、例年になく、静かな運転開始となりました。

○それでも、駅や沿線には、運転開始を待ちわびた多くの方が。約4か月遅れで帰ってきたSLの雄姿や迫力ある汽笛の音など、SLの魅力を五感で堪能できた1日でした。

○きっと、この地域にとってSLはなくてはならない存在なのだ、みんなで思いを新たにしましたことでしょう。



新型コロナウイルス感染症対策

○運休していた間、車内には、座席、荷物棚、テーブルなどに抗ウイルス剤が噴霧されました。

3年から5年は効果が持続します。安心してご乗車ください。

○ご乗車の際はまたは撮影や見学でお越しの際は、周囲の方と距離を保ち、マスクの着用、大声での会話を控えるなど、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

※記念スタンプ、ゲームコーナー等、ご利用いただけない設備がありますので、あらかじめご了承ください。



△抗ウイルス剤の噴霧の様子



最新の情報は、公式HPからご確認ください！

SLやまぐち

検索

団体名	愛媛県西条市 鉄道歴史パーク in SAIJO	〒793-0030 Tel : 0897-47-3855 Fax : 0897-53-6200 URL : https://s-trp.jp/ Email : tetsudobunka@saijo-city.jp 担当者：西条市観光振興課 寺田 達
-----	----------------------------	---



愛媛県西条市のＪＲ伊予西条駅に隣接する鉄道歴史パーク in SAIJO は、新幹線の父・十河信二氏ゆかりの地に誕生した四国初の本格的な鉄道資料館「四国鉄道文化館（北館・南館）」と「十河信二記念館」、鉄道グッズや特産品を販売する「観光交流センター」からなる西条市の観光・交流エリアです。

十河氏の象徴とも言える 0 系新幹線電車をはじめ、ＤＦ 50 形ディーゼル機関車 1 号機、Ｃ 57 形蒸気機関車、キハ 65 形急行用気動車、ＤＥ 10 形ディーゼル機関車 1 号機、フリーゲージトレイン第 2 次試験車の計 6 両を展示しています。

【基本情報】

開館時間：9 時～18 時（最終入館 17 時 30 分） 休館日：水曜日（観光交流センターは無休）
入 館 料：四国鉄道文化館北館・南館共通券 大人 300 円、小中学生 100 円、幼児無料、各種割引有

【2019 年度の主な活動実績】

◆伊予西条鉄道フェスタ 2019

11 月 23 日と 24 日の 2 日間にかけて鉄道フェスタを開催。ＪＲ 四国の協力のもと、令和元年夏にデビューした新型特急気動車 2700 系の特別公開や軌陸車の走行実演など、楽しい鉄道イベントを実施し、延べ 2,100 人のお客様にご来場いただきました。



◆ミニＳＬ乗車会

四国鉄道文化館南館には総延長 235m のミニ Ｓ Ｌ 用軌道を敷設しており、夏場の 7 月・8 月を除く月 1 回のペースで乗車会を開催。四国ミニ Ｓ Ｌ 倶楽部の協力で、月によって 1 ～ 2 編成の規模縮小版の乗車会、5 ～ 10 編成の乗車会を実施し、毎回大勢の家族連れでにぎわっています。



◆ヘリテイジセンター・四国鉄道文化館北館の外壁を修繕

四国鉄道文化館北館は、公益財団法人日本ナショナルトラスト（Ｊ Ｎ Ｔ）のヘリテイジセンターとして、平成 19 年 11 月に開館しました。地元産の木材を 100% 使用し、地元職人の手によって造られた木造建築物ですが、長年の風雨等の影響による劣化が懸念されていました。

そうした中、Ｊ Ｎ Ｔ 事務局へ相談したところ、Ｊ Ｎ Ｔ 会員様のご厚志によって建物の延命化を図る木部保護塗装等の修繕が施工され、令和 2 年 1 月 30 日に修繕工事が完了しました。

また、令和元年 5 月には、Ｊ Ｎ Ｔ 会員様より貴重な鉄道資料と展示用ケースもご寄贈いただき、当館での企画展等で活用させていただいています。



馬路村 やなせ 魚梁瀬森林鉄道

〒781-6202

高知県安芸郡馬路村大字魚梁瀬 10-11

馬路村役場魚梁瀬支所

TEL : 0887-43-2211 FAX : 0887-43-2208

E-mail : yanase@vill.umaji.lg.jp

URL : <http://www.umajimura.jp/>

古くから高知の林業は栄えてきました。県内の多くの木材が朝廷奉納や幕府献上として活用されていた記録が古い文書に残されています。

特に銘木、魚梁瀬杉で知られるように森林資源に恵まれた馬路村では、木材搬出のため、明治44年に、国内3番目の森林鉄道として、馬路から田野間を結ぶ森林鉄道が開通しました。その後、馬路から魚梁瀬まで延長され、大正6年には本線終点の石仙まで軌道が伸びました。やがて奈半利川沿いにも軌道が敷かれるようになり、総延長250kmといわれる県内最大級の森林鉄道となりました。

しかし、昭和32年、魚梁瀬ダム建設に伴い森林鉄道の廃止が決定しました。33年から軌道の撤去がはじまり、38年に安田川線の撤去が完了し、惜しまれながら廃線されましたが、現在でも、当時の面影を残す隧道や橋梁跡などが点在し、人々の生活の中に残っています。

その繁栄を遂げた魚梁瀬森林鉄道の遺産として、平成21年に橋梁や隧道など18箇所（馬路村内では4箇所）が国の重要文化財の指定を受けました。同年には経済産業省の近代化産業遺産群にも9基（馬路村内では2基）が認定されました。広域（馬路村を含めた中芸5ヵ町村）で国の重要文化財の指定を受けるのは、我が国初のことです。

平成29年度、森林鉄道の遺構が残る中芸5ヵ町村が申請した「森林鉄道から日本一のゆずロードへーゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化ー」が日本遺産に認定されました。

現在、貴重な観光資源としても活用され、林鉄は馬路村に多くの観光客を集めています。

●馬路森林鉄道

実物の3分の2の大きさに復元された森林鉄道。安田川支流の西谷川沿いに線路が敷かれ、約300mの周回コースを走ります。

◎場所／馬路村馬路 馬路温泉前

◎運行日／日、祝日 8時30分～16時
[8月は毎日運行]

◎料金／乗車大人400円など

◎お問い合わせ／馬路温泉

TEL:0887-44-2026



●魚梁瀬森林鉄道

魚梁瀬ダム湖が見下ろせる丸山公園に、復元された森林鉄道があります。指導を受けながら運転することができる「運転手体験」メニューもあります。

◎場所／馬路村魚梁瀬 丸山公園内

◎運行日／日、祝日 10時00分～12時、13時～15時30分
[8月は土曜も運行]

◎料金／乗車大人400円、運転体験1,000円など

◎お問い合わせ／集落活動センターやなせ

TEL:0887-43-2055



団体名	宇高連絡船愛好會	〒 706-0011 Tel : 0863-32-4081 URL : https://ukourenrakusenaiko.wixsite.com/aikoukai Email : aikoukai@tamano.or.jp 担当者：三村卓也
-----	-------------------	--

「宇高（うこう）鉄道連絡船」は明治43（1910）年6月の運航開始以来、昭和63（1988）年4月の瀬戸大橋開通に伴う廃止時まで、本州と四国の大動脈として「宇野（岡山県）—高松（香川県）」の区間で旅客と鉄道貨物を運び続けていました。

廃止後、使命を終えた船は早い段階で売却され、棧橋施設も宇野側は2年後に撤去されました。唯一、発着バースのみが残りましたが、これも港の再開発工事が始まると撤去される運命でした。

当時、同船を偲ぶ団体はありましたが、歴史を継承する団体は存在しておらず、史料の散逸化を防ぐのは個人的な活動で行っていたのが現状です。會長もその1人で、史料収集と歴史研究を行い、同船廃止5年である平成5（1993）年3月には企画展示を開催し、この時協力した友人が同年8月に結成した「宇高連絡船愛好會」初期メンバーとなります。最初の活動は海外に売却された連絡船の動向調査と唯一残っていた宇野側バースの保存運動でしたが、実はメンバー全員が高校生で、関係機関を訪ねても最初は全く相手にされず、活動は難航しました。しかし、諦める事無く訪問を繰り返し、地元に対しても保存の意義を伝える活動を行い、何とか保存に結びつけました。

現在、継続して行っているのは、

- ・史料の収集と研究、それに伴う歴史の再検証
- ・バースの清掃とメンテナンス、PR活動
- ・連絡船の役割を伝える為、最盛期を再現した立体資料（Nゲージ模型）の製作と管理
（宇野港の産業振興ビル1階ロビーにて通常は常設展示、イベント時には列車運行）

特に本年度では、現在休止中の宇高航路の復活に向けた活動と、同航路全般の歴史検証を行っています。瀬戸大橋が出来ても、その補完機能としての役割を果たしていました。ここ数年は「地域交通の問題」として行政やマスコミが騒いでいましたが、その観点からの存続は難しいと思っています。私達は、本州と四国の「南北軸」としての1本として同航路を考えています。

宇高鉄道連絡船用宇野第2バース跡



昭和45（1970）年モデルの立体資料



団体名
北九州線車両保存会

〒818-0071
福岡県筑紫野市二日市西12-1-2F
株式会社ワンマイル内 北九州線車両保存会
<http://kitakyuushuusen.main.jp/>
担当 手嶋 070-4171-7738
毎熊 080-5607-8193

門司港レトロ148号再塗装（山側）



内部照明設置



621号・324号再塗装（かしいかえん）



※コロナウイルス感染防止のため、現在621号及び324号の公開は中止しております。

福岡市内線507号再塗装（筑前山家駅）



【保存作業に有効な資格取得推奨中】

- ・手嶋康人
石綿作業主任者
建築物石綿含有建材調査者
軌道装置動力車運転者特別講習修了
- ・毎熊 晃
第二種電気工事士
有機溶剤作業主任者
軌道装置動力車運転者特別講習修了
(甲種危険物取扱者・電検主任者勉強中)



特急はやぶさ（横浜駅内海川跨線橋 昭和42年11月26日）

表紙・裏表紙写真：米山淳一

日本鉄道保存協会

〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目6-1番地 泰生ビル405号室

公益社団法人 横浜歴史資産調査会 気付

電話／FAX: 045-651-1730

URL: <http://www.rpsj.jp/>

Email: info@rpsj.jp